

トラックスケール・インジケータ  
(多段仕様)

**AD-4353**

取扱説明書

**AND** 株式会社 **エー・アンド・デイ**

#### **ご注意**

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求については、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2018 株式会社 エー・アンド・デイ  
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

# 目次

1	はじめに.....	5
1-1	概要.....	5
1-2	使用上の注意.....	5
2	本体仕様内容.....	6
2-1	基本仕様.....	6
3	本体構成.....	8
3-1	フロントパネル.....	8
3-2	リアパネル.....	9
3-3	サイドパネル.....	10
4	計量モード.....	11
4-1	スタート画面.....	11
4-2	計量画面.....	12
4-3	計量の種類.....	14
4-4	多段計量.....	15
4-5	空車登録された車番の計量.....	18
4-6	空車、総重ボタンのみでの印字.....	20
4-7	コントロール I / O.....	21
4-7-1	コントロール入力.....	21
4-7-2	コントロール出力.....	21
4-8	補正の入力及び読出し.....	22
4-8-1	補正入力.....	22
4-8-2	各補正の入力.....	24
4-9	計量伝票発行時の合計機能.....	25
4-10	車番の入力方法.....	26
4-11	コード番号の入力方法.....	27
4-12	過積載.....	28
4-13	2スケール仕様.....	28
4-14	計量画面でのデジタルロードセル用の表示.....	29
5	メニューモード.....	36
5-1	伝票.....	37
5-1-1	伝票再発行.....	37
5-1-2	伝票一覧印字.....	38
5-1-3	伝票削除.....	39
5-1-4	伝票追加発行.....	42
5-1-5	伝票データのUSBメモリへの出力.....	44
5-2	滞留車.....	46
5-2-1	滞留車変更.....	46
5-2-2	滞留車発行.....	47
5-2-3	滞留車一覧印字.....	49

5-2-4	滞留車削除.....	49
5-3	集計.....	50
5-4	車番登録.....	52
5-5	名称登録.....	53
5-5-1	新規名称登録.....	57
5-5-2	名称登録変更.....	61
5-5-3	名称登録一覧印字／削除.....	61
5-5-4	コード番号0の登録.....	61
5-6	補正登録.....	62
5-6-1	重量範囲単価.....	64
5-7	保守.....	65
5-7-1	日付時刻設定.....	65
5-7-2	基本機能設定.....	66
5-7-3	計量機能設定.....	67
5-7-4	音声ガイダンス.....	68
5-7-5	保守情報.....	69
5-7-6	デジセルユーザー設定.....	70
5-8	データの保存・読込.....	71
5-8-1	USBメモリへの保存.....	71
5-8-2	USBメモリからの読込.....	73
5-8-3	SDカードへの保存.....	74
6	印字例.....	76
6-1	伝票印字.....	76
6-2	一覧印字.....	79
6-2-1	伝票一覧印字.....	79
6-2-2	滞留車一覧印字.....	80
6-2-3	車番登録一覧印字.....	81
6-2-4	名称登録一覧印字.....	82
6-2-5	補正登録一覧印字.....	83
6-3	集計印字.....	84
6-3-1	掛け合わせ1つ.....	84
6-3-2	掛け合わせ2つ.....	85
6-3-3	掛け合わせ3つ.....	86
7	エラーメッセージ.....	87
7-1	起動時のエラーメッセージ.....	87
7-2	計量伝票発行時のエラーメッセージ.....	87
7-3	登録時のエラーメッセージ.....	88
7-4	時計バックアップバッテリー交換のメッセージ.....	89
8	音声ガイダンス.....	90
9	外観図.....	91

# 1 はじめに

## 1-1 概要

本器AD-4353は、12.1インチカラー液晶タッチパネルを採用したデジタルロードセル対応のトラックスケールインジケータです。

本取扱説明書は、その多段仕様について記載しています。

本体構成は標準仕様と同じで、ソフトウェアでの計量動作などの機能が多段仕様となります。画面表示にカラー液晶を使用し、見やすく長寿命で、対話形式により操作しやすくなっています。また、音声ガイダンスを標準装備していますので、車両の乗車や計量操作のサポートを音声で促すことが可能です。

さらに、それぞれのデジタルロードセルから重量データを取得できますので、それを使用して左右のバランス、重心の表示を行うことが可能です。

外付けの伝票プリンタは、以下の2種類をオプションで用意しています。

- ・AD-4352-30 Aタイプ：カード式プリンタ（単票）
- ・AD-4352-31 Bタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

オプション以外でも、以下のプリンタで伝票発行可能です。

- ・BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙） MPT-111ES(ナダ電子製)

お客様でご購入の上、使用してください。

※本取扱説明書はソフトウェアバージョン Ver3.00 以降に適用されます。

## 1-2 使用上の注意

- 本器は精密電子機器のため、取り扱いには充分注意してください。
- タッチパネルは指先で操作するため、手袋などは外してください。  
また故障の原因となるボールペンやシャープペンなど、先端が固いものやとがったものは使用しないでください。市販のタッチペンの使用は可能ですが、強く押し付けてこすらないでください。故障や破損の恐れがあります。
- 使用温度範囲は0℃～40℃以内です。本器、及び伝票プリンタは直射日光のあたらない場所に設置してください。特にカード式プリンタは、用紙の有／無を検出するフォトセンサが、誤動作する原因となります。
- 使用する電源は、安定した電源をご使用ください。  
不安定な電源（瞬停やノイズを含むもの）を使用すると、誤動作する恐れがあります。  
また、誤動作を防ぐために大地アースをとってください。AC電源ケーブルでアースが接続される場合には不要です。接地はD種接地、単独アースに接続し、電力機器系のアースとは共有しないように注意してください。
- 伝票用プリンタは外付けとなります。付属のシリアルケーブルで接続してください。  
プリンタの仕様内容はカード式（単票）／発行式（連続紙）、それぞれのプリンタの取扱説明書を参照してください。
- 取引証明に使用する計量伝票は、車番、総重量、空車重量、正味重量、また補正機能を有するときにはその補正内容（水分補正）など、印字データが何を示すのかが明確に印刷された用紙を必ずご使用ください。
- 本器は、トラックスケール用インジケータなので、単価を使用して計量伝票に金額を印字することは問題ありませんが、料金はかりなどの指示計には使用できないことを留意ください。
- USBテンキーは計量画面で計量伝票を発行する目的でのみ使用してください。他の画面で

の動作は保証できません。

- 本器と接続可能なデジタルロードセルは、弊社製デジタルロードセルのみです。他社製デジタルロードセルとの接続は保証しません。

## 2 本体仕様内容

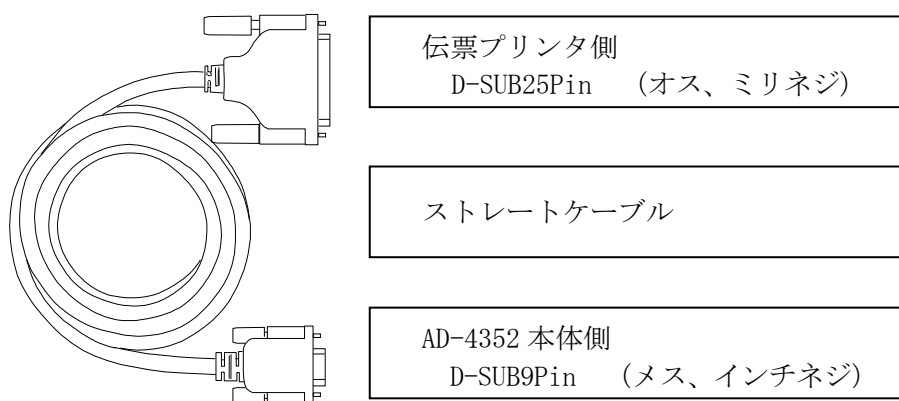
### 2-1 基本仕様

一般仕様		
電源電圧	AC100V (50/60Hz)	
消費電力	本器のみ フルオプション 約 30VA	
時計機能バックアップ電源	データ保持期間 約 10 年 (コイン電池使用)	
使用温度	0℃～40℃	
使用湿度	85% R.H. 以下 (結露なきこと)	
質量	約 4.3kg (指示計スタンド付フルオプションにて)	
外形寸法	324(W)×105(D)×262(H) mm	
スタンド	標準装備	
表示部		
パネル種類	TFT カラー液晶	
画面サイズ	12.1 インチ	
解像度	800×600 (SVGA)	
バックライト	LED	
計量値表示部	5 桁表示 文字寸法：23mm(H)×15mm(W)	
輝度半減期	約 5 万時間	
タッチパネル	4 線式抵抗膜方式	
メモリ		
日計元帳件数	10000 段	内蔵フラッシュメモリ
車番登録件数	4000 件	
項目名称登録件数	4000 件×3	
補正登録件数	1000 件×2	
滞留車件数	500 段	
音声ガイダンス		
標準装備		
付属品		
AC 電源ケーブル (1K0115)	1 本	
設置アダプタ (1ET9102)	1 個	
ヒューズ (1FSEAK-3.15A)	1 個	
ロードセル用コネクタ ((1JMNR-205-PM))	1 個	
カレント出力コネクタ (1JATCP0576)	1 個	
入出力用コネクタ (コネクタ：1JI361J024-AG、コネクタカバー：1JI360C024-B)	1 個	
RS-422/485 (D-SUB9Pin：1JA17JE-23090)	1 個	
SD カード(128M) (出荷時に本体装着済み)		
取扱説明書 (本書 1 部)		

オプション	
AD-4352-11	増設デジタルロードセル I / F ボード
AD-4352-03	RS-232C
AD-4352-09	カレントループ入力
AD-4352-30	カード式プリンタ (単票) <span style="float: right;">接続ケーブル * 1</span> プリンタ本体 : EPSON : TM-U590AC アダプタ : PS-180 AC 電源ケーブル : 1K0115
	外形と質量 252 (W) × 266 (D) × 185 (H) mm 約 5kg 消費電力 70VA
AD-4352-31	発行式プリンタ (連続紙) <span style="float: right;">接続ケーブル * 1</span> プリンタ本体 : スター精密 : SP322SSD40-100J1
	外形と質量 175 (W) × 303 (D) × 196 (H) mm 約 3.1kg 消費電力 60VA
AD-4352-32	USB-テンキー
アクセサリ	
インクリボン	カード式プリンタ : AX-ERC-31B-S (5 本) 発行式プリンタ : AX-RC300P-S (5 本)
集計・登録印字用 白紙用紙	カード式プリンタ : 市販の白紙用紙(A4) などのご購入による対応をお願いします。 発行式プリンタ : AX-PP153 (1 束)

\* 1 接続はプリンタに付属のシリアルケーブルで接続か、市販のケーブルをご使用ください。  
(オプションのプリンタに付属するシリアルケーブル型番 : AX-KO1710-200)

### プリンタ接続ケーブル仕様



#### ※注意

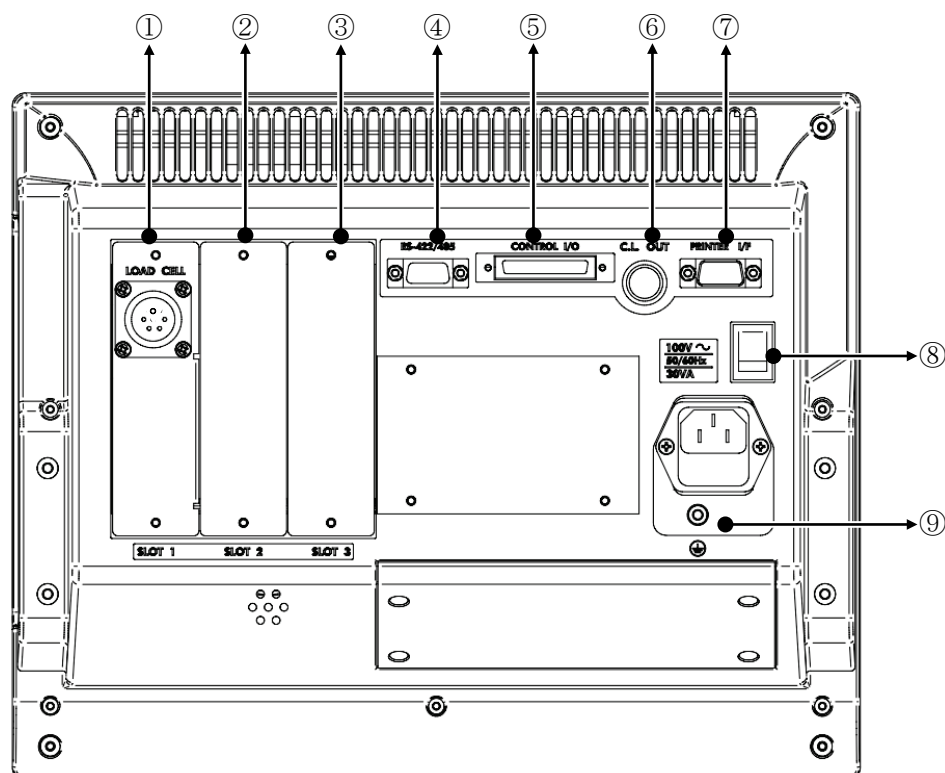
B Nタイプはメーカー指定の専用ケーブルを使用する必要があります。  
これと合せて、さらに9 Pシリアルリバースアダプタが必要になります。





## 3-2 リアパネル

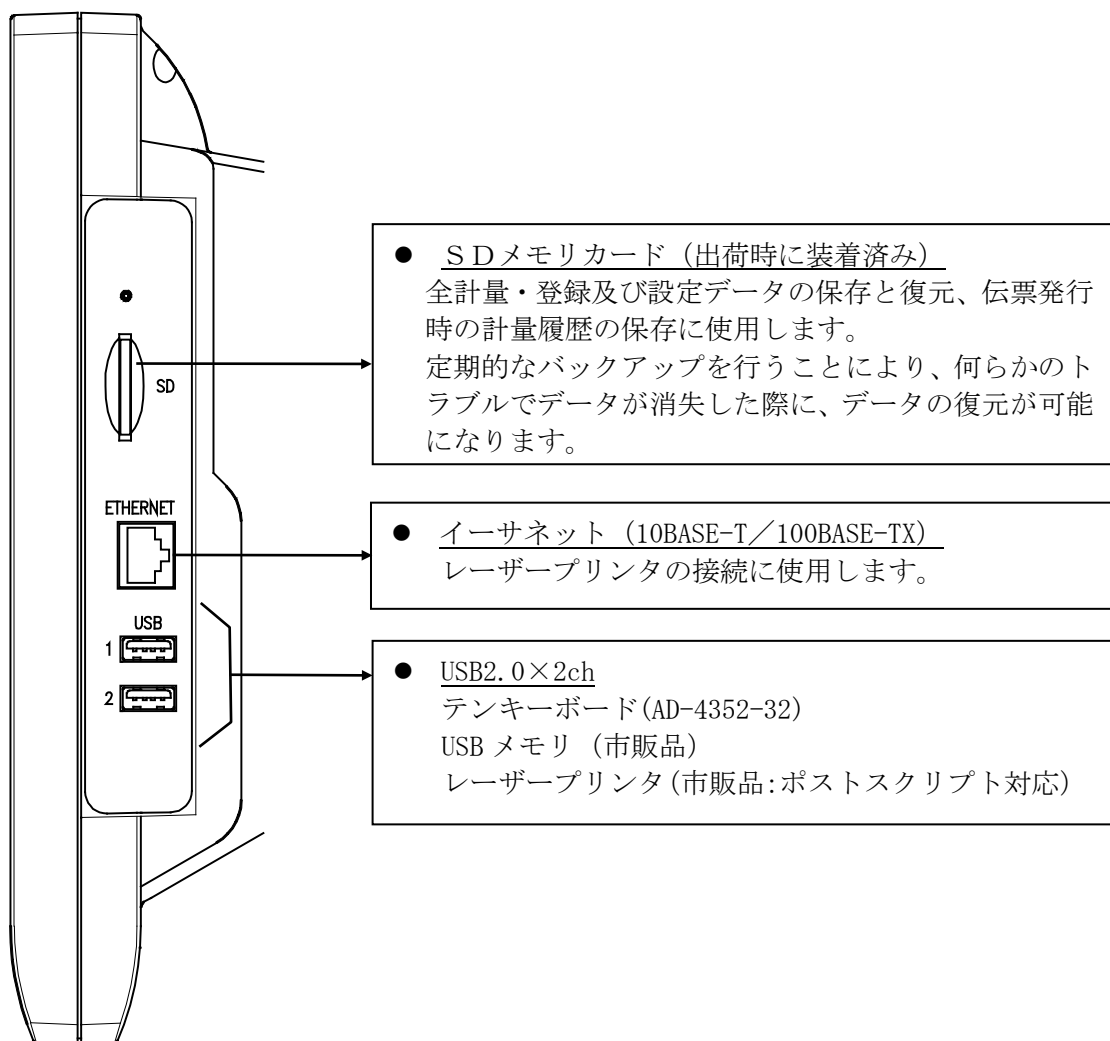
### 本器リアパネルとインタフェース



番号	機能
①	スロット1：スケール1用 標準デジタルロードセル I/F ボードもしくは OP-09（カレントループ入力）
②	スロット2：オプション用
③	スロット3：オプション用
④	RS-422/485 周辺機器用インタフェース
⑤	コントロール I/O 信号灯などのコントロール入出力用インタフェース
⑥	外部表示器用カレントループ・インタフェース
⑦	伝票プリンタ専用インタフェース
⑧	電源スイッチ
⑨	アース端子：誤動作を防ぐために大地アースをとってください。 AC電源ケーブルでアースが接続される場合には不要です。 接地はD種接地、単独アースに接続し、電力機器系のアース とは共有しないように注意してください。

### 3-3 サイドパネル

本器の向って右側側面のインタフェースです。



その他  
音声ガイダンス機能を標準装備しています。

## 4 計量モード

### 4-1 スタート画面

本器電源を立ち上げると、プログラムバージョンと伝票プリンタのタイプとを表示します。

(伝票プリンタ：Aタイプ=カード式(単票)、Bタイプ=発行式(連続紙))

現在の伝票番号が表示された、伝票番号入力ダイアログが表示されます。

伝票番号を変更するときは、伝票番号を入力して **設定** ボタンを、変更しないときは、そのまま **設定** ボタンを押します。 **設定** ボタンを押すと、表示が計量画面に替わります。

計量機能設定で起動時の伝票番号を無しに設定すると、伝票番号入力ダイアログを表示しないで計量画面に替わります。

伝票番号は起動後に基本機能設定でも変更できます。

入力した伝票番号がすでに存在する場合には現在の連番の伝票番号で立ち上がります。

#### 伝票番号入力ダイアログ

トラックスケール多段 Aタイプ

伝票番号			
555			
7	8	9	後退
4	5	6	消去
1	2	3	閉じる
0			設定

伝票番号を入力して下さい。  
変更しない場合は設定ボタンを押して下さい。

#### 計量（待機中）画面



消灯	平成27年 9月25日 金曜日 15:14	計量	メニュー
スケール 1	センターゼロ 安定	ゼロ	
伝票番号	555	検索	滞留車一覧表示 3件
車番		車番	段数
業者		08:52	5890 0718 0
銘柄		10:18	8610 4649 1
		14:50	3530 8931 2
	: kg		
	: kg		
	: kg		
待機中です。			

**重心** ボタンを押すと、台貫上の計量物の左右バランス及び重心を表示します。待機中は、滞留車一覧表示を行います。

## 4-2 計量画面

The screenshot shows a weighing scale interface with the following components:

- 2: 共通表示部 (Common Display):** Includes a green '消灯' (Light Off) button, the date '平成26年 7月30日 水曜日 13:14', a red '計量' (Weighing) button, and a yellow 'メニュー' (Menu) button.
- 1: 重量表示部 (Weight Display):** Shows 'スケール 1' (Scale 1) and a large green digital display showing '2650 kg' with a blue '安定' (Stable) indicator. A blue 'ゼロ' (Zero) button is on the right.
- 3: 計量伝票表示部 (Weighing Ticket Display):** A table showing weighing ticket details:
 

伝票番号	2000	重量引	70 kg	個数	2 個
車番	1234A	補正正味	3060 kg		
業者	150ABC産業株式会社	水分引	7 %		
行先	5北本工場	補正正味	2850 kg		
銘柄	20資源-B	単価	15 円	税率	8 %
1段目	13:12	5850 kg	金額	46170 円	
2段目	13:13	2650 kg	合計重量	4200 kg	
正味重量	3200 kg		合計金額	54918 円	
- 4: メッセージ表示部 (Message Display):** A blue bar at the bottom showing the message '降車待ちです。' (Waiting for vehicle to descend).
- 5: 操作ボタン表示部 (Operation Button Display):** A yellow bar at the bottom right with an upward arrow.

1: 重量表示部	
スケール切替ボタン	現在のスケールを表示し、スケール1/2の切り替えを行います。
重量表示	現在の計量値をkgまたはtを付けて表示します。 ロードセルとの通信不良時は、「— — —」表示になります。
状態表示	上から センターゼロ/安定/オーバーロード とそれぞれの条件を満たしたときに表示します。
センターゼロ	重量値が真のゼロのときに表示します。
安定	重量値が安定すると表示します。
オーバーロード	重量値がひょう量+9目以上で表示します。 重量表示はブランクします。
マイナスオーバー	重量値が-20目以下では単位表示のみで重量表示も状態表示も行いません。単位以外は全てブランクとなります。
2: 共通表示部	
消灯	バックライトOFFボタン 液晶画面のバックライトをOFFします。トラックの乗車または画面のどこかを押せば画面表示します。
ロック	キーロックボタン 計量画面でのタッチパネルの操作を禁止します。再度押すとロックが解除され、タッチパネルの操作が可能になります。 ロック状態でも、バックライトOFFボタン、計量ボタン、ゼロボタンは有効です。
	日付・時刻表示 現在の日付・時刻を表示します。年の表示は和暦/西暦で切り替え可能です。
計量	計量ボタン トラック未乗車でも車番入力待ちにして計量可能にします。計量画面以外では操作中の動作を中断して計量画面を表示します。
メニュー	メニューボタン メニュー画面を表示します。キーロックされている場合には、キーロックを解除する必要があります。
ゼロ	ゼロボタン 設定された条件の範囲内で重量表示をゼロにします。
3: 計量伝票表示部	計量伝票発行のためのデータを表示します。
4: メッセージ表示部	本器を操作するためのメッセージを表示します。
5: 操作ボタン表示部	本器を操作するためのボタンを表示します。ボタンは操作が有効なときのみ表示します。

この他、エラー発生時など画面中央にダイアログを表示します。

## 伝票データの最大桁数

項目	最大桁数	入力範囲	オーバー時の処理
伝票番号	4桁	1～9999 *	
車番	8文字	0～9、A～Z	
項目コード	5桁	0～99999	
名称	14文字	表示のみ	
総重量	6桁(小数点含)	0～99999 *	
空車重量	6桁(小数点含)	0～99999	
正味重量	6桁(小数点含)	表示のみ	
重量引重量	6桁(小数点含)	0～99999	
重量引個数	2桁	0～99	
水分引	4桁	0～100	
補正後正味	6桁(小数点含)	表示のみ	
単価	6桁(小数点含)	0～99999	
消費税	2桁	表示のみ	
金額	10桁(小数点含)	表示のみ	負の値または桁数オーバーは——表示
合計重量	10桁(小数点含)		負の値または桁数オーバーは——表示
合計金額	10桁(小数点含)		負の値または桁数オーバーは——表示

- ・ 伝票番号は伝票発行後に+1されます。伝票番号が9999の場合は1になります。
- ・ 車番は0～9までの数字とモードボタンを押すことにより、A～Zの入力が可能です。
- ・ 項目コードの0入力は未入力となり、伝票発行時に印字しません。
- ・ 正味重量は、前段重量、今回重量の大きい方から小さい方を引いた値にて、必ず正の値になります。
- ・ \*印は伝票追加発行でのみ入力可となり、通常の計量時は表示のみです。

## 4-3 計量の種類

以下の計量が可能です。


荷降ろし計量	混載された車両より1品目ずつ降ろしながら計量し伝票印字します。
積み込み計量	1品目ずつ積載しながら計量し伝票印字します。 荷降ろし計量に対し設定で切り替えることなく対応します。
空車登録有り	車番登録で登録された空車重量を荷降ろし計量の最終段で使用し計量します。
空車、総重 ボタンのみでの印字	車番入力待ちでダイアログを閉じてから「空車」、「総重」ボタンを押すと、それぞれの計量値を印字します。 また、メニュー／保守の計量機能設定で「空車／総重での正味印字」の設定を有効にすると1段のみ正味重量を印字させることも可能です。

計量データの入力には以下の方法があります。

画面ダイアログから	画面に表示されるテンキーダイアログ内の数字または文字のボタンを押すことにより入力します。
USBテンキーから	外付けUSBテンキーの数字ボタンより入力します。

(USBテンキーのみでの伝票発行)

USBテンキーボードは以下のように対応するボタンが割り当てられています。これらの「設定完了」、「印字」ボタンなどを押すことで、USBテンキーのみで伝票発行まで操作することができます。

ゼロ	計量	入力	後退	Tab	→ ゼロ
7	8	9	空車		→ 計量
4	5	6	総重	*	→ 入力戻り
1	2	3	設定完了	BS	→ 後退
0		印字		-	→ 空車
				+	→ 総重
				del	→ 印字
				Enter	→ 設定完了

### 注意

USBテンキーのボタンを速く押すと、画面が追従せず、入力したデータは後から表示されます。テンキーダイアログを自動的に表示させている場合は、画面を確認しながら入力してください。計量画面での伝票発行以外は、タッチパネルの操作が必要になります。

計量伝票には以下の種類があります。

標準書式	一般的な計量伝票向けの書式です。
作成書式	印字項目の位置を自由に設定できる書式です。 5種類の書式が登録可能で初期値として標準書式の値が入っています。

計量値の取り込みには以下の種類があります。

ロードセル入力	ロードセルの出力をA/D変換し計量値として取り込みます。
カレントループ入力	カレントループ入力ボード(OP-09)から指示計のカレントループ出力を取り込みます。

## 4-4 多段計量

混載した車両から1品目毎に降ろす、もしくは空車車両に1品目毎を積み込む計量となります。

### 1. 待機中画面

車両の乗車を待つ待機中画面では滞留車の一覧表示を行います。

① **再発行** ボタンを押すとメニューの再発行画面に移行します。

伝票番号	555	検索	滞留車一覧表示	3件	再発行
車番		時刻	計量値 kg	車番	段数
業者		10:49	3350	4646	0
銘柄		11:36	5040	5623	1
総重量	: kg	12:57	7360	7878	0
	: kg				
	: kg				

待機中です。

### 2. 総重量の計量画面

最初の混載した車両（総重量）を **総重** ボタンで計量します。

積み込み計量でも操作は同じです。

伝票番号	555				
車番	3693				
業者	150 ABC産業株式会社				
銘柄					
総重量	15:56 7580 kg				
	: kg	合計重量		kg	
	: kg				

総重ボタンを押して下さい。  
反転している項目を押して入力を変更することもできます。

### 3. 各段の計量画面

消灯		平成26年 7月30日 水曜日 16:00		計量	メニュー
スケール	3740 kg			安定	ゼロ
①	伝票番号	555			
	車番	3693			滞留車
	業者	150 ABC産業株式会社			閲覧
					印字
	銘柄	20 資源-B			空車
	1段目	15:58	5820 kg		
	2段目	16:00	3740 kg	合計重量	kg
	正味重量	2080 kg			
<p>空車(段追加)又は印字(伝票発行)ボタンを押して下さい。 反転している項目を押して入力を変更することもできます。</p>					

**印字** ボタン：最終段の計量となります。押すと安定した計量値を読み込み、伝票印字する計量データを日計元帳に登録し、伝票印字を行います。

**空車** ボタン：現在計量した段を滞留車として記憶し降車後の以降の計量を継続します。

**印字** **空車** ボタンを押す前に薄い青色部分①を押すと、伝票発行前に入力データを変更できます。

上図では銘柄のコード番号がこれに該当します。

**滞留車閲覧** ボタン：今まで計量してきた滞留車の各段の計量結果を一覧表示します。



項目名称が登録されていなくとも、項目コード番号を未入力もしくは0で入力された箇所の名称入力が可能です。項目名称の表示部（薄い青色部分）を押すことで文字入力が可能となり名称のみ入力することができます。計量伝票に印字されるだけで日計元帳にメモリされるわけではありません。

毎回印字または一括印字での最終段で有効になります。

消灯 平成26年 7月30日 水曜日 16:03 計量 メニュー

スケール 1 4990 kg 安定 ゼロ

伝票番号	556		
車 番	4563		
業 者	0		
銘 柄			
総重量	16:02	4990 kg	
	:	kg	合計重量 kg
		kg	

総重

総重ボタンを押して下さい。  
反転している項目を押して入力を変更することもできます。

● 滞留車閲覧

空車 印字 ボタンを押す前に 滞留車閲覧 ボタンを押すと、今まで計量してきた滞留車の各段の計量結果を一覧表示します。

滞留車閲覧 平成26年 7月30日 水曜日 16:00 計量 メニュー

スケール 1 3740 kg 安定 ゼロ

	車 番	3693	銘 柄							戻る
業 者	150	ABC産業株式会社	3段目	:	kg	kg				
総重量	15:57	7580 kg								
銘 柄	10	資源-A	銘 柄							
1段目	15:58	5820 kg	1760 kg	4段目	:	kg	kg			
銘 柄			銘 柄							
2段目	:	kg	kg	5段目	:	kg	kg			画面切替

計量中の車番の滞留車です。  
戻るを押すと計量中の画面に戻ります。

今まで計量してきた各段の滞留車データを一覧表示します。

5段目まで表示しますので、6段目以降は 画面切替 ボタンで画面を切り替え表示します。ここでは一覧表示するのみです。修正はできません。

戻る ボタンで計量画面に戻ります。

## 4-5 空車登録された車番の計量

空車登録されている車番の計量手順を以下に示します。

これは、混載された積載物を1品毎に降ろし計量する荷降ろし計量に使用できる計量動作となります。

最初の総重の計量で車両が乗車後に空車登録された車番を入力すると **総重** と **空車読出** ボタンが表示されます。 **空車読出** ボタンが表示されることで空車登録された車番であることを示します。

消灯	平成26年 7月30日 水曜日 13:22	計量	メニュー
スケール 1	5330 kg 安定		ゼロ
伝票番号	7		
車番	2345		
業者	150 ABC産業株式会社		
銘柄			
総重量	13:21 5330 kg		空車読出
	:	kg	合計重量 kg
		kg	総重
総重(滞留車作成)又は印字(伝票発行)ボタンを押して下さい。 空車読出ボタンを押すと空車登録を読み出して最終段となります。			

**総重** ボタン： 初回の総重量を計量し滞留車を作成し、以降1品毎に荷降ろし計量を行っていきます。積載物が最後の1品目となったときに **印字** ボタンを押し最終段とします。

**空車読出** ボタン： **空車読出** ボタンを押すと、最後の1品目のコード番号の入力待ちとなり、最終段として計量し完了する計量動作となります。登録されている空車重量を呼び出し計量しますので、最後の1品目を降ろさず最終段を計量します。

**空車読出** ボタンを押すと、今の段の計量内容を印字した後に最終の銘柄のコード番号の入力を促します。

消灯 平成26年 7月30日 水曜日 13:23 計量 メニュー

スケール 1 5330 kg 安定

伝票番号		コード番号	
車番	2345		0
業者	150		
銘柄	0		
総重量	13:2		
空車重量	:		
正味重量			

7 8 9 後退  
4 5 6 消去  
1 2 3 閉じる  
0 設定

kg

銘柄を入力して下さい。  
コード番号未入力設定ボタンを押してコード番号無しとすることもできます。

コード番号を入力すると **印字** ボタンを表示します。ここでは空車登録されている空車重量を読み出し正味重量を求め表示します。

①水色で表示する入力された項目コード番号を押すことでコード番号を修正できます。

消灯 平成26年 7月30日 水曜日 13:23 計量 メニュー

スケール 1 5330 kg 安定 ゼロ

伝票番号	7		
車番	2345		
業者	150 ABC産業株式会社		
銘柄	10 資源-A		
総重量	13:22	5330 kg	
空車重量	:	1500 kg	合計重量 kg
正味重量		3830 kg	

滞留車 閲覧  
印字

①

印字(伝票発行)ボタンを押して下さい  
反転している項目を押して入力を変更することもできます。

**印字** ボタンを押すと、日計元帳にメモリし伝票印字行い、計量を完了し降車待ちとなりますので、最後の1品目を積んだまま、登録された空車重量を読み出し最終段を計量し完了させることができます。

## 4-6 空車、総重ボタンのみでの印字

車番を入力せずに、現在の計量値を空車もしくは総重として印字、さらにその正味重量を計量伝票に印字する機能を説明します。

トラックが乗車し、車番入力待ちで表示されたテンキーダイアログを「閉じる」ボタンで閉じると、以下の画面になり「空車」ボタン、「総重」ボタンを表示します。

The screenshot shows a weighing scale interface. At the top, it displays the date and time: 平成26年 7月31日 木曜日 13:34. Below this, there are buttons for '消灯' (Light Off), '計量' (Weighing), and 'メニュー' (Menu). The main display shows a weight of 2670 kg with the unit 'kg' and a status indicator '安定' (Stable). To the left of the display is a 'スケール' (Scale) section with a '1' button. To the right is a 'ゼロ' (Zero) button. Below the display is a table for recording weighing data:

伝票番号	555				
車番					
業者					
銘柄					
	:	kg			
	:	kg	合計重量	kg	
		kg			

At the bottom of the table, there are two buttons: '空車' (Empty) and '総重' (Total Weight). Arrows labeled ① and ② point to these buttons respectively. Below the table, there is a message: 車番を入力して下さい。

ここで、「空車」ボタン①を押すと現在の安定した計量値を空車重量として、計量時分と共に印字し降車待ちとなります。

「総重」ボタン②を押すと、現在の安定した計量値を総重量として、計量時分と共に印字し降車待ちとなります。

ここで、メニュー/保守の「3:計量機能設定」で“空車/総重での正味印字”が有りの設定では、印字した計量値を総重または空車として一時記憶します。1回目の一時記憶が“空車”のときには、次回に総重量の車両が乗車し「総重」ボタンを押すと総重量と正味重量を印字します。ただし、この計量データは車番を入力していないので、日計元帳へは保存しません。また、この一時記憶は電源を切るとクリアされます。

## 4-7 コントロール I / O

本器が持っているコントロール入出力の仕様内容を説明します。

### 4-7-1 コントロール入力

ゼロ	計量画面上の <input type="button" value="ゼロ"/> ボタンと同様の機能です。
位置検出	トラック乗車の条件に追加します。位置検出を 2 つ使用する場合は 2 つが ON で有効になります。
計量	計量画面上の <input type="button" value="計量"/> ボタンと同様の機能です。

### 4-7-2 コントロール出力

前信号 (乗降車信号)	トラック未乗車で ON、乗車で OFF になります。内部設定モードにおけるコントロール I / O の出力選択が、乗降車信号になっている場合は逆になります。
後信号	計量が完了してトラックが降車待ちになると ON になります。他の状態では OFF になります。
過積載	過積載エラーが発生すると ON になります。 <input type="button" value="確認"/> ボタンで OFF になります。
行先出力 (行先出力使用時)	計量完了から次のトラックが乗車するまでの間、内部設定モードにおけるコントロール I / O の行先出力で設定された、コード番号の下 2 桁を出力します。
偏荷重出力 (行先出力未使用時)	左右 2 段階で指定した割合以上になると ON になります。

※ 出荷時設定では、行先出力は「未使用」です。

## 4-8 補正の入力及び読出し

### 4-8-1 補正入力

正味重量算出後、重量引 → 水分引 → 単価の順に、内部設定で使用となっている補正を入力します。項目コード同様に 印字 ボタンを押す前に値を変更することも可能です。

#### 重量引

重量引で入力した計量値を、正味重量から引いて補正後正味とします。

以下の式で定義されます。

(個数未使用の場合)

$$\text{補正後正味[k g]} = \text{正味重量[k g]} - \text{重量引[k g]}$$

(個数使用の場合)

$$\text{補正後正味[k g]} = \text{正味重量[k g]} - \text{重量引[k g]} \times \text{個数}$$

**注意)** 設定により、重量引×個数及び補正後正味を目量で丸めます。

#### 水分引

水分引で入力した値または水分登録の値から水分量を算出し、正味重量から引いて補正後正味とします。

以下の式で定義されます。

$$\text{水分量[k g]} = (\text{正味重量[k g]} \times \text{水分率[\%]}) / 100$$

$$\text{補正正味[k g]} = \text{正味重量[k g]} - \text{目量で丸めた水分量[k g]}$$

#### 単価

単価で入力した値または単価登録の値から金額を算出します。

さらに、消費税率から税額を算出し、これを金額に加算して税込み金額とします。

以下の式で定義されます。

(標準単価の場合)

$$\text{金額[円]} = \text{正味重量[k g]} \times \text{単価[円/k g]}$$

$$\text{税額[円]} = (\text{金額[円]} \times \text{消費税率[\%]}) / 100$$

$$\text{税込み金額[円]} = \text{金額[円]} + \text{税額[円]}$$

(重量範囲単価の場合)

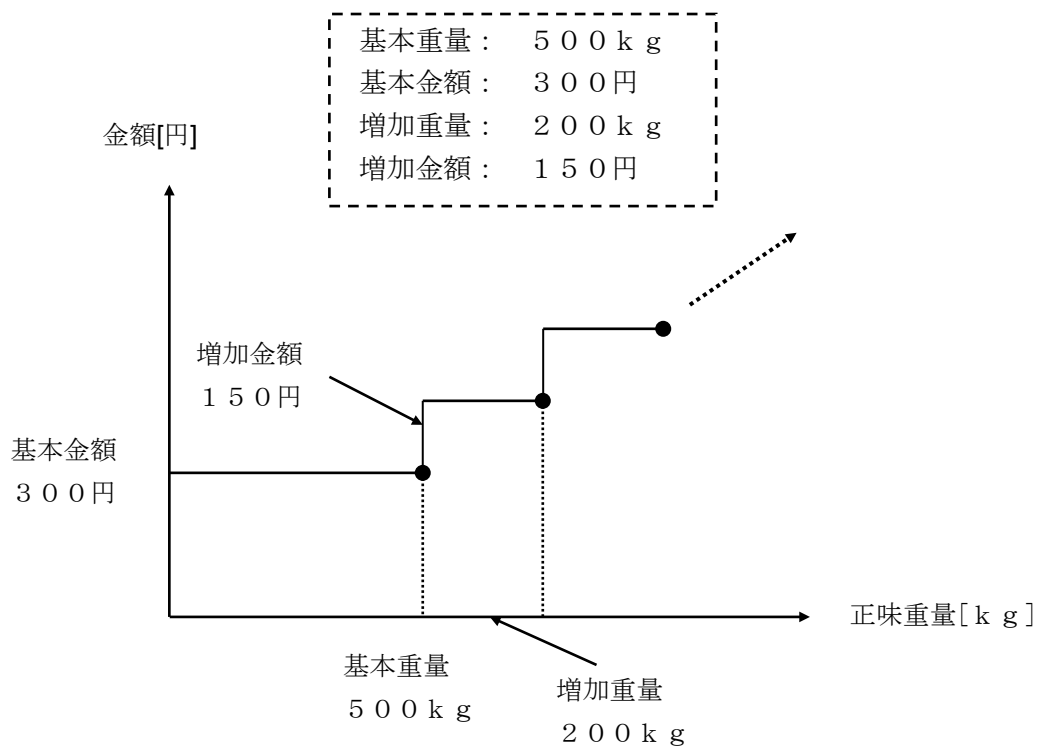
超過重量[k g] = 正味重量[k g] - 基本重量[k g] (結果が負の場合は0) とすると、

$$\text{金額[円]} = \text{基本金額[円]} + (\text{超過重量[k g]} / \text{増加重量[k g]}) \times \text{増加金額[円]}$$

ただし、超過重量[k g] / 増加重量[k g]は小数点以下切捨て

税額、税込み金額は標準単価と同じ

正味重量と金額の関係は以下ようになります。



正味重量[k g]	金額[円]
正味重量 $\leq 500$ k g	300円
$500$ k g < 正味重量 $\leq 700$ k g	450円
$700$ k g < 正味重量 $\leq 900$ k g	600円
⋮	⋮

## 4-8-2 各補正の入力

正味重量が求まると、使用する設定になっている補正值の入力を画面上で促します。  
内部設定で予め登録しておく場合には、登録値を読み出し表示、印字する動作となります。

水分引補正を例に上げると、以下の画面になります。

伝票番号	3000								
車 番	1234A								
業 者	150	ABC産業株式会社	水分引	3	%	滞留車			
			補正正味	1120	kg	閲覧			
銘 柄	10	資源-A				印字			
						空車			
総重量	8 : 41	8710 kg							
1段目	8 : 45	7560 kg	合計重量		kg				
正味重量		1150 kg							

空車(段追加)又は印字(伝票発行)ボタンを押して下さい。  
反転している項目を押して入力を変更することもできます。

水分引の値を表示して、**空車** **印字** ボタンの入力待ちになります。

薄い水色部分①を押すことで変更可能です。

単価使用の場合も同様の操作となります。

ただし、単価が重量範囲単価の場合は、計量画面上には金額のみで単価データの表示はしません。  
さらに読み出した単価データの変更もできない仕様となります。



## 4-9 計量伝票発行時の合計機能

メニュー／保守の **3 : 計量機能設定** の「合計印字」を“有り”に設定することにより、**印字** ボタンを押すと伝票印字を行い、正味合計を表示する以下の画面になります。

消灯	平成26年 7月30日 水曜日 16:01		計量	メニュー
スケール ①	3740 kg		安定	ゼロ
伝票番号	555			
車番	3693			
業者	150	ABC産業株式会社		
銘柄	20	資源-B		
1段目	15:58	5820 kg		
2段目	16:01	3740 kg	合計重量	3840 kg
正味重量	2080 kg			
降車待ちです。				

合計正味を計量毎に求める機能となります。  
金額を使用する設定においては合計金額を表示します。  
消費税を使用した設定では税額込みの合計金額となります。

## 4-10 車番の入力方法

車番の入力についてはテンキーからの入力以外に、計量機能設定での車番入力の方法により、車番登録一覧や滞留車一覧から選択して入力することもできます。

計量機能設定での車番入力の方法が車番一覧からになっているときは、トラックが乗車すると以下の画面のように車番登録の一覧を表示します。

消灯 平成25年 4月2日 火曜日 14:09 計量 メニュー

スケール 1 1500 kg 安定 ゼロ

伝票番号 1024 検索 車番 登録一覧表示 10件

車番	空車重量 kg	最大積載量 kg
1000	1000	0
1001	1200	500
1234	600	0
2000	0	400
2234	7500	500
5000	0	500
5677	0	0
6000	1020	0

③ ② ①

車番登録一覧から車番を選択して下さい。  
車番のカーソルを押して車番を入力することもできます。

ここで車番登録一覧から入力したい車番のデータ①を押すと車番入力ができます。

**検索** ボタン②を押すと検索用のダイアログを表示し、入力した文字で車番を検索して一覧表示中に反転表示します。

車番入力の濃い青色部分③を押すと、車番入力のダイアログを表示して、そこから車番入力をすることも可能です。

滞留車一覧からの入力については、車番登録一覧からの入力と同様の操作になります。

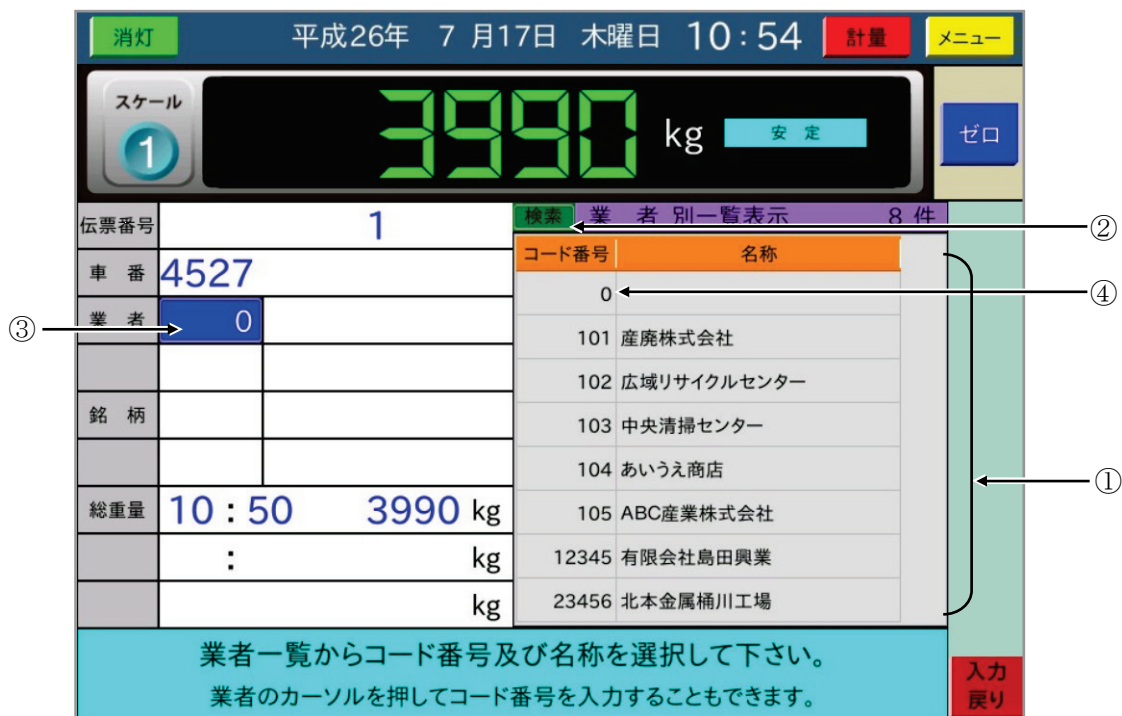
ダイアログを表示していなくても、USBテンキーから車番入力が可能です。

USBテンキーのボタンを速く押すと、画面が追従せず、入力したデータは後から表示されます。

## 4-11 コード番号の入力方法

コード番号の入力についてはテンキーからの入力以外に、計量機能設定で項目コードの入力方法を選択して名称一覧から入力することもできます。

計量機能設定で項目コードの入力方法が一覧からの選択になっていると、車番入力後以下のように名称登録の一覧を表示します。



ここで、名称登録一覧から入力したいコード番号（名称）のデータ①を押すと、コード番号の入力ができます。

**検索** ボタン②を押すと検索用のダイアログを表示し、入力した数値でコード番号を検索して、一覧表示中に反転表示します。

コード番号入力の濃い青色部分③を押すと、車番入力のダイアログを表示して、そこから車番入力することも可能です。

ダイアログを表示していなくても、USBテンキーからコード番号入力が可能です。

USBテンキーのボタンを速く押すと、画面が追従せず、入力したデータは後から表示されます。

また、コード番号を未入力としたい場合、項目名称に0で空白④を登録しておき、これを選択することで、項目の未入力（印字は空白）となります。

## 4-12 過積載

計量値が車番登録された車両総重量を超えると過積載エラーとなり、ダイアログを表示してコントロール出力をONにします。

過積載を判定する条件や過積載後の動作は、計量機能設定で以下のように設定できます。

車両が乗車し車番を入力した後に安定した計量値を読み込み“過積載”のチェックを行います。 車両総重量の設定（設定値＝0は判定無しと判断します）		
車番登録	車両総重量が車番登録されているときは、この設定値で過積載を判定します。	
共通設定	車両総重量が車番登録されていないときは、メニュー/保守の計量機能設定の最大積載量で過積載を判定します。	
過積載時の処理		
計量続行	<input type="button" value="確認"/>	ボタンで計量続行します。
計量禁止	<input type="button" value="確認"/>	ボタンで車番入力待ちに戻ります。
過積載の判定重量		
総重量（固定）	総重量（現在の計量値） > 車両総重量で過積載エラーとします。	

## 4-13 2スケール仕様

スロット2に増設デジタルロードセルI/Fボード(OP-11)またはカレントループ入力ボード(OP-09)を実装することで、2スケール仕様として動作します。

スケール2を使用した場合も、スケール1と同様な手順で計量伝票の発行が可能です。

また、どちらで計量しても滞留車データは共通なので、スケール1で総重量（空車重量）を、スケール2で空車重量（総重量）を計量して伝票発行することも可能です。

カレントループ出力による外部表示器(AD-8921)は、選択中のスケールの計量値を出力します。

本器電源を立ち上げたときにスケール2が乗車中でなければ、スケール1が選択された状態になります。

スケールの切り替えは、スケール切替ボタンによる手動切替と、計量動作の変化による自動切替があります。

手動切替は待機中、車番入力待ち、降車待ちで可能であり、計量中のスケール切替は禁止です。車番入力待ちの場合は、ダイアログを閉じてからスケール切替が有効になります。

自動切替は以下の場合に行われます。

- 1) 待機中で選択されていないスケール（スケール1が選択されているならスケール2）のトラックが乗車した場合。
- 2) 車番入力待ちまたは降車待ちで、選択されていないスケール（スケール1が選択されているならスケール2）のトラックが乗車した状態で、選択されている（スケール1が選択されているならスケール1）トラックが降車した場合。

スケール1と2の計量値は、単位、小数点、目量が共通となります。

## 4-14 計量画面でのデジタルロードセル用の表示

計量画面でのデジタルロードセル用の表示及びその他の機能について説明します。AD-4353では、偏荷重の検出及びロードセルの異常を通常の計量を行いながら検出し、表示及び出力することが可能となっています。

### ① 左右のバランスと重心の表示

画面右の重心ボタンを押すと、台貫上の計量物の左右のバランス及び重心位置を表示します。これらを表示しているときに再度重心ボタンを押すと、これらの表示は消えます。

ここでいう左／右とは、↑の基準点から台貫を見た場合のものです。

左右のバランスは1%単位で、これを示す棒グラフは5%単位で表示します。



### (注意)

待機中でトラックが乗車すると車番入力のダイアログを表示しますが、左右のバランス及び重心を確認したい場合は、「閉じる」ボタンを押してダイアログを閉じてください。

トラック乗車時に左右のバランス及び重心を毎回確認する場合は、保守モードの計量機能設定内の「車番入力の方法」を「車番一覧」か「滞留車一覧」に設定してください。このようにすると、トラック乗車時に自動的にダイアログの表示は行いません。車番入力は一覧からの選択または車番の濃い青色部分を押して車番入力ダイアログを表示させて行います。

### ② 使用前のゼロ補正の必要性

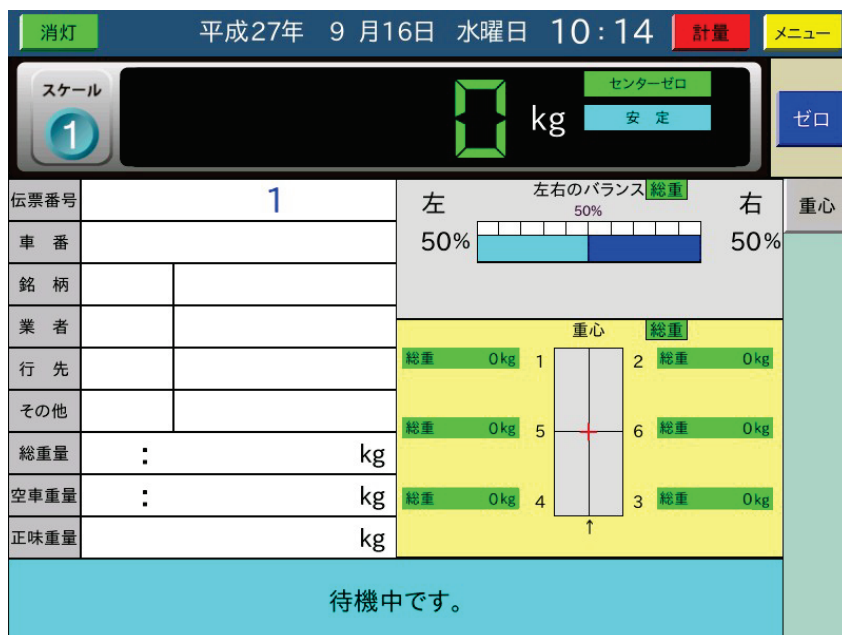
左右のバランス及び重心を表示させる際には台貫上に何も載っていない状態で、各ロードセルの検出重量が0になっていないと誤差の要因になります。

この誤差は台貫上の計量物の重量値が小さいほど大きくなります。特に本機能のテストとして人が台貫に載った場合などはこの誤差が大きく影響します。

本機能を使用する際は、和算した重量値が0であっても、各ロードセルの重量値がプラス/マイナスにずれていれば、ゼロボタンを押して、各ロードセルの重量値を0にしてください。

また、和算重量が保守モードのデジタルユーザー設定内の「偏荷重検出重量」以上とならなければ、左右のバランス及び重心の計算結果はそのまま表示されず、左右のバランスは50%ずつ、重心は中央に表示します。これは、各ロードセルの重量値が小さ過ぎると演算誤差が大きくなり、表示がちらついてしまうのを防ぐためです。

ゼロボタンを押して、以下のように各ロードセルの重量表示が0になることを確認します。

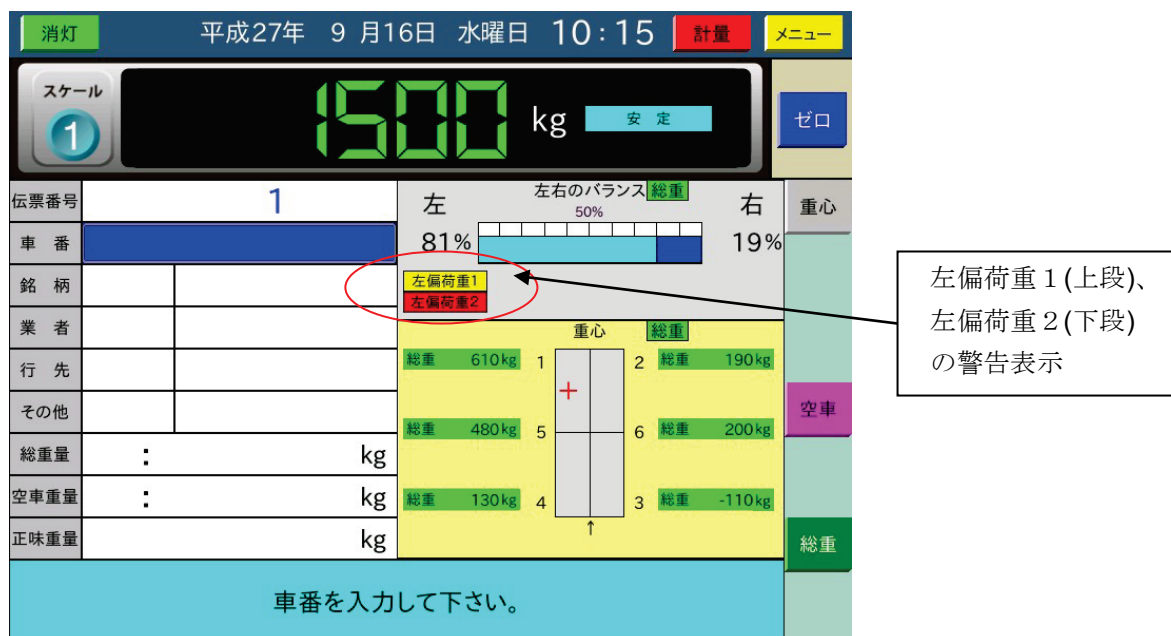


### ③ 偏荷重の警告表示と出力

偏荷重を検出するための基準は、保守モードのデジセルユーザー設定内において左右それぞれ2段階で55%～100%まで5%単位で設定可能です。

左右のバランスがこの値以上になると、計量画面上で警告表示を行います。また、コントロールI/Oの出力端子をONして、ブザーを鳴らし、パトライトを点灯させることができます。出力端子をONする機能は、画面上の重心表示とは関係なく動作します。

左偏荷重を検出すると、以下の表示になります。



左偏荷重1(上段)、左偏荷重2(下段)の警告表示

右偏荷重を検出すると、以下の表示になります。

消灯 平成27年 9月16日 水曜日 10:15 計量 メニュー

スケール 1 1500 kg 安定 ゼロ

伝票番号	1	左	左右のバランス	50%	右	重心
車番		23%			77%	
銘柄						
業者						
行先		総重	-30kg	1	2	総重
その他						
総重量	: kg	総重	250kg	5	6	総重
空車重量	: kg					
正味重量	: kg	総重	120kg	4	3	総重

右偏荷重1 (上段)、右偏荷重2 (下段) の警告表示

車番を入力して下さい。

さらに、保守モードのデジセルユーザー設定内において「偏荷重検出でのダイアログ表示」を「する」に設定すると、偏荷重検出で画面中央にダイアログ表示します。本機能は、画面上の重心表示とは関係なく動作します。

消灯 平成27年 9月16日 水曜日 10:19 計量 メニュー

スケール 1 1500 kg 安定 ゼロ

計量エラー

左偏荷重を検出しました。  
左右バランス調整後、確認ボタンを押して下さい。

確認

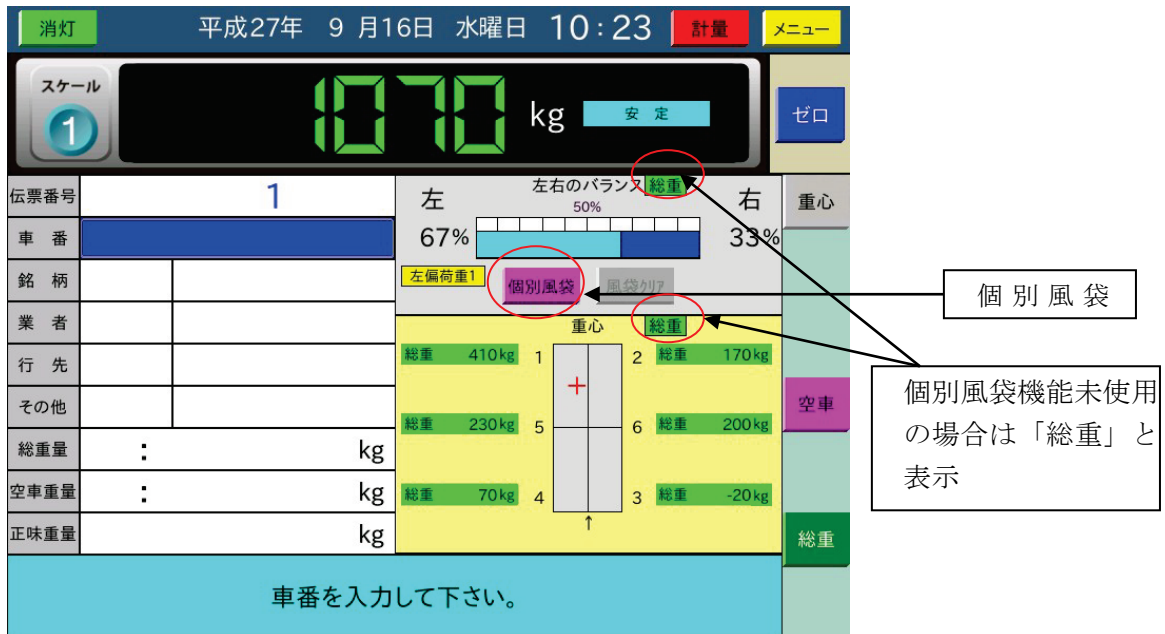
車番を入力して下さい。

④ 個別風袋機能

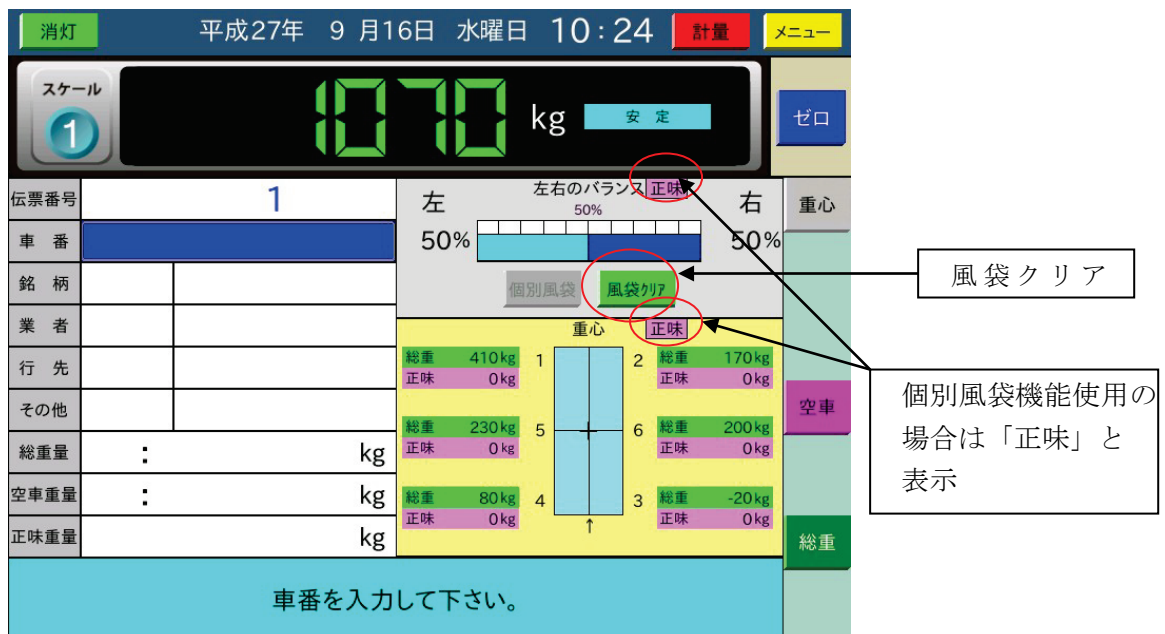
個別風袋機能を使用すると、トラック上での積荷の左右のバランス及び重心を表示することができます。本機能を使用することにより、積荷をトラックの荷台に左右バランスよく載せることが可能になります。

本機能は、保守モードのデジタルユーザー設定内において「個別風袋機能」を「使用」に設定した場合に有効になります。また本機能は、左右のバランス及び重心表示のためのものであり、計量値（和算した重量）には影響しません。

トラックが乗車すると、以下のような表示になります。



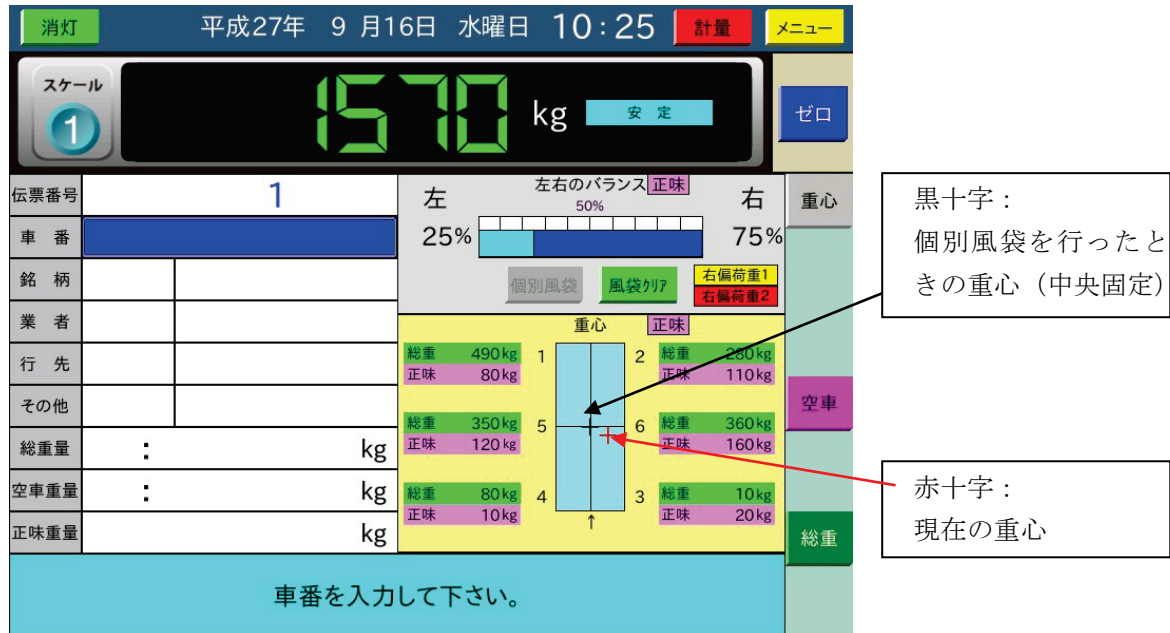
ここで「個別風袋ボタン」を押すと、各ロードセルの総重表示の下に正味を表示します。



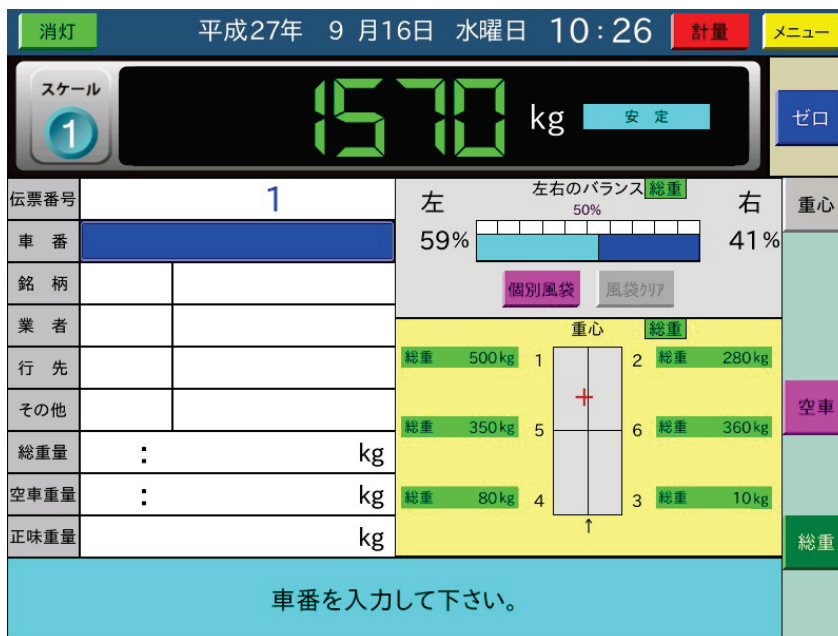


各ロードセルの正味重量は、トラック乗車時の個別のロードセルの重量を風袋引したもののなので全て0になります。左右のバランス及び重心表示での「総重」の表示は「正味」に変わります。また、左右のバランスと重心は、風袋ボタンを押したときの和算重量が偏荷重検出重量以上増加するまで計算結果をそのまま表示せず、左右のバランスは50%ずつ、重心は中央に表示します。

ここで、トラック上に荷物が載ると以下のように、積荷のトラック上での左右のバランス及びトラックの重心を基準とした積荷の重心を表示します。

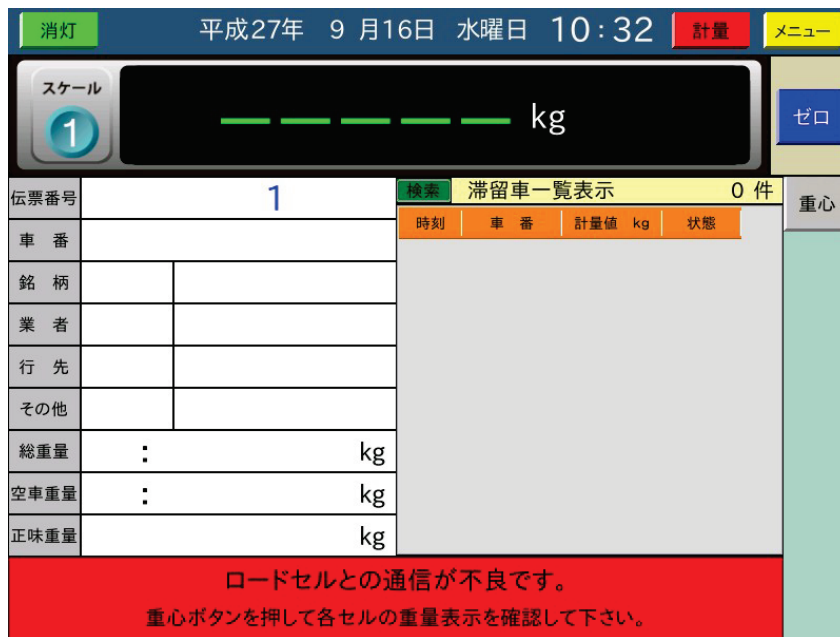


風袋クリアボタンを押すと、個別風袋はクリアされ、総重量の左右バランス、重心の表示に戻ります。

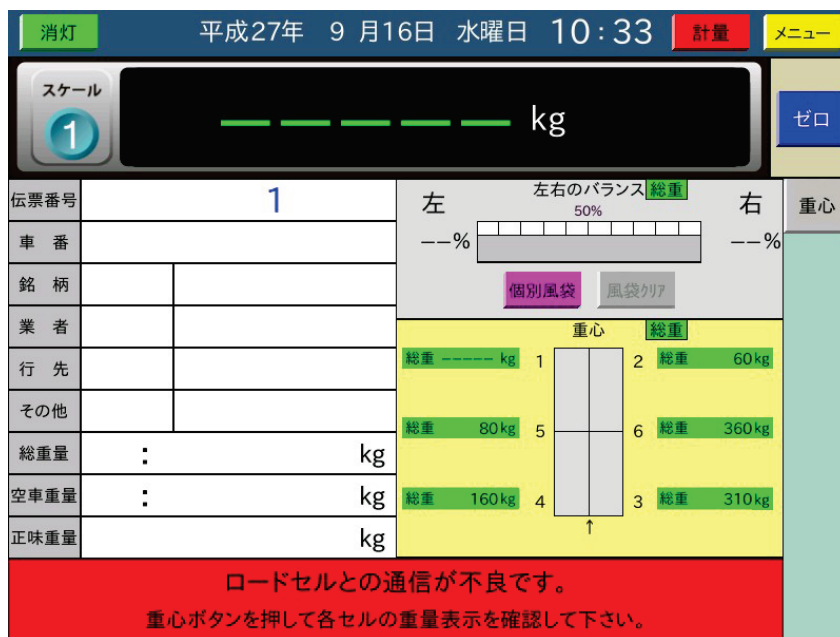


⑤ 通信不良時の動作

使用されているロードセルのいずれかが通信不良になると、以下のように警告メッセージを表示し、重量表示は「- - - - -」になります。



ここで、メッセージに従い重心ボタンを押すと、以下のように通信不良を起こしているロードセルの重量表示が「- - - - -」になります。



この例では、ロードセル1が通信不良となっていることがわかります。

## ⑥ 左右バランスの印字

印字ボタンを押したときの左右のバランスを計量伝票に印字することができます。

通常、総重量で算出した値の印字になりますが、個別風袋機能を使用して各ロードセルの正味重量を表示しているときに印字ボタンを押すと、正味重量で算出した値を印字します。この場合、「N 65%」のように先頭に“N”を付けて印字します。

左右バランスの印字は伝票発行プリンタでもレーザープリンタでもどちらでも可能です。伝票発行プリンタの場合は、作成書式で印字位置を指定します。レーザープリンタの場合は、左側%、右側%の印字を「有り」に設定します。

### (注意)

\*左右バランスの印字は、計量画面でトラックが台貫に乗車して計量した場合のみ可能です。伝票再発行、追加発行、滞留車発行では印字しません。

\*また、左右バランスの印字は、積荷の偏りを確認するためのものであり、その印字値は取引証明に使用できませんのでご注意ください。

\*なお、左右バランスは日計元帳に保存しません。

## 5 メニューモード

計量モードで **メニュー** ボタンを押すと、計量モードからメニューモードに切り替わりメインメニューを表示します。



- 1.伝票  
伝票再発行、追加発行、一覧印字、削除を行います。
- 2.滞留車  
滞留車の変更、滞留車を選択しての伝票発行、一覧印字、削除を行います。
- 3.集計  
計量伝票の集計を行います。
- 4.車番登録  
車番に対する項目コード、空車重量、最大積載量の登録、変更、一覧印字、削除を行います。
- 5.名称登録  
項目名称の登録、変更、一覧印字、削除を行います。
- 6.水分登録  
水分引の登録、変更、一覧印字、削除を行います。  
内部設定で水分登録を使用する設定のときに表示します。
- 7.単価登録  
単価の登録、変更、一覧印字、削除を行います。  
内部設定で単価登録を使用する設定のときに表示します。
- 8.保守  
時間の設定、機能の設定、外部メモリヘデータの保存・読込みを行います。

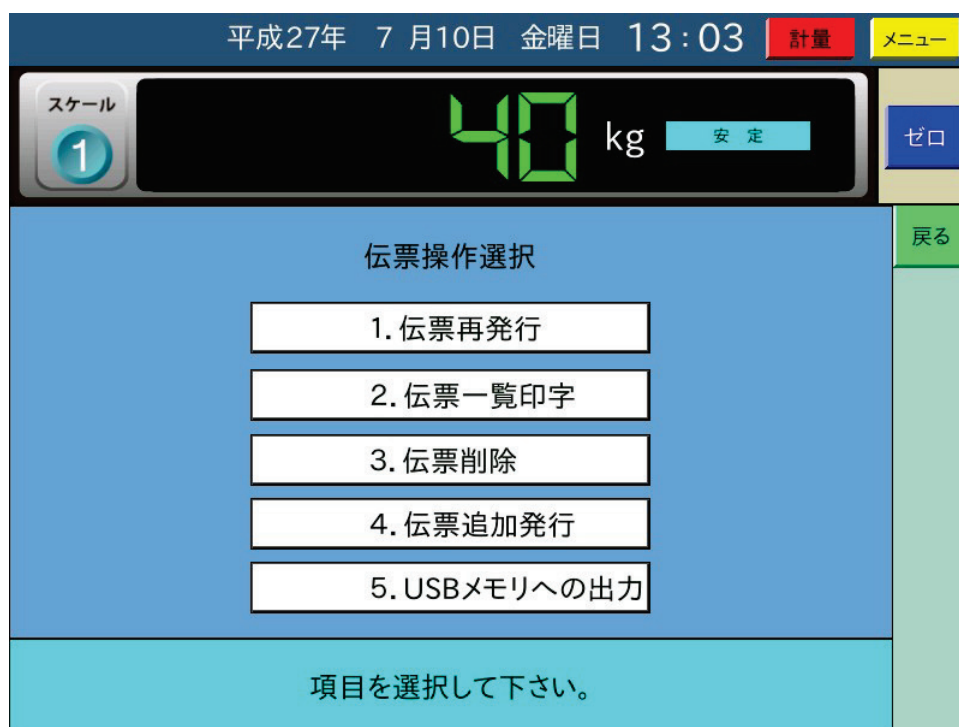
最上表示部の日付右側に位置する **計量** ボタンで、計量モードに切り替わります。

## 5-1 伝票

メインメニューで **1.伝票** を選択すると、伝票操作選択画面が表示され操作を選択できます。

**4.伝票追加発行** は、内部設定で伝票追加発行が“使用”のときのみ表示します。

**戻る** ボタンを押すと、前画面に戻ります。(以下共通)



### 5-1-1 伝票再発行

**1.伝票再発行** を選択すると伝票一覧を表示して、その日の伝票の先頭①を反転表示にします。



ここで **再発行** ボタン②を押すと伝票データが表示されます。

伝票一覧から他の伝票の行を押すとその行が反転表示され、**再発行** ボタン②を押すと選択した伝票データが表示されます。

検索の年月日③を変更すると、変更した年月日の伝票の先頭が反転表示します。

選択した伝票の年月日（黄色で表示）

伝票再発行 平成25年 4月2日 火曜日 計量 メニュー

スケール 1 kg 安定 ゼロ

伝票番号	1023	車番	9876	品名	15 資源-E33	戻る
会社名	10 広域リサイクルセンター	3段目	13:50	1750 kg	60 kg	印字 ④
区分	20 廃棄可燃2551	補正	kg 個	13 %	50 kg	
総重量	13:48	2160 kg				画面切替 ⑥
品名	2 飼料-1234	品名				
1段目	13:49	2000 kg	160 kg	4段目	: kg kg	
補正	kg 個	13 %	140 kg	補正	kg 個 % kg	
品名	5 アルミ缶-小	品名				
2段目	13:49	1810 kg	190 kg	5段目	: kg kg	
補正	kg 個	13 %	170 kg	補正	kg 個 % kg	

印字ボタンを押すと伝票発行します。  
反転している項目を押して入力を変更することもできます。

ここで **印字** ボタン④を押すと伝票を再発行します。

**印字** ボタンを押す前に薄い青色部分⑤を押すと、伝票データを変更することができます。

**印字** ボタンを押した後、登録確認のダイアログ(変更があった場合のみ)、印字確認のダイアログを順に表示します。それぞれ必要ならば **はい** のボタンを押してください。

**画面切替** ボタン⑥で6段目以降の表示画面に切り替わります。戻すときも同じボタンです。

## 5-1-2 伝票一覧印字

**2. 伝票一覧印字** を選択すると伝票一覧を表示して、その日の伝票の先頭を反転表示にします。

ここで、一覧印字する伝票の行の終わりを押すと、選択した範囲①が反転表示します。

印字伝票一覧 平成25年 4月2日 火曜日 10:27 計量 メニュー

スケール 1 kg 安定 ゼロ

年月日	No.	車番	段数	会社名	名称	区分	名称
H25/03/30	1010	1000	3	352		20	廃棄可燃2551
H25/04/01	1013	1000	2	352		20	廃棄可燃2551
H25/04/01	1014	1000	1	352		20	廃棄可燃2551
H25/04/01	1015	5000	2	10	広域リサイクルセン...	5	再生資源1234
H25/04/01	1016	2000	1	100		10	廃棄不燃300
H25/04/01	1017	2000	3	100		10	廃棄不燃300
H25/04/01	1018	1000	2	352		20	廃棄可燃2551
H25/04/01	1019	1020	4	10	広域リサイクルセン...	5	再生資源1234
H25/04/02	1011	1000	1	352		20	廃棄可燃2551
H25/04/02	1012	1000	1	352		20	廃棄可燃2551

検索 25年 4月 2日 登録段数 83/10000

印字範囲のデータを選び、一覧印字ボタンを押して下さい。  
選択解除ボタンを押すとデータの選択を解除します。

**一覧印字** ボタン②を押すと確認のダイアログを表示した後、選択した伝票の一覧印字をします。

**選択解除** ボタン③を押すと選択を解除し、**全選択** ボタン④を押すと全ての伝票データを選択します。

さらに **日付範囲** ボタン⑤を押すと日付範囲を入力するダイアログを表示し、指定した日付範囲で一覧印字します。日付範囲は現在の年月日から表示します。範囲を変更する場合は変更する項目を押して、変更してから **確定** ボタンを押します。

### 5-1-3 伝票削除

3. 伝票削除 を選択すると伝票の一覧表示をします。

伝票削除には、**日付範囲** ボタンによる削除、**全選択** ボタンによる全ての伝票データの削除、画面選択による1件削除と範囲指定削除の方法があります。

年月日	No.	車番	段数	業者	名称
H27/07/08	3	3923	2	212	島田組
H27/07/09	4	5963	4	206	小林リサイクル
H27/07/09	5	7139	3	208	北本トマト運輸
H27/07/10	6	3104	2	201	中央清掃センター
H27/07/10	7	4649	2	203	広域リサイクルセン...
H27/07/10	8	8065	2	205	200工務店
H27/07/10	9	7253	2	207	鴻業産品回収
H27/07/10	10	4126	2	203	広域リサイクルセン...
H27/07/13	1	2674	2	208	北本トマト運輸
H27/07/13	2	5963	2	206	小林リサイクル

**日付範囲** ボタンによる削除

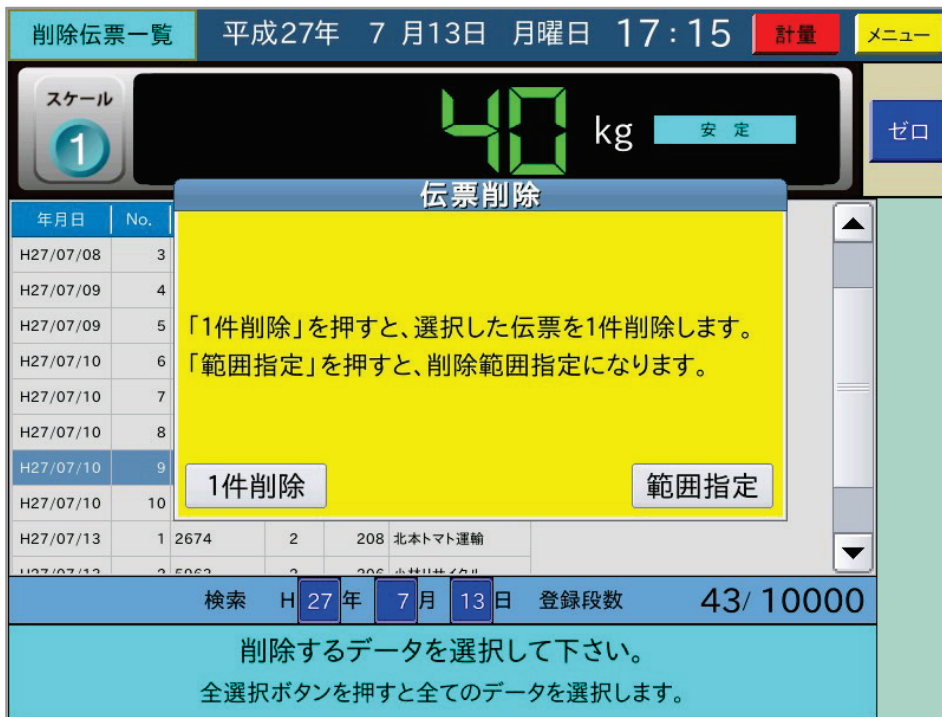
削除する日付を入力するダイアログが表示しますので、削除する日付範囲を入力し **確定** ボタンを押すと削除範囲確認のダイアログを表示します。確認後、**はい** ボタンを押すと、その日付範囲を削除します。削除した後に伝票番号を設定します。

**全選択** ボタン

全ての伝票データが選択されます。(ここでは選択するだけです)

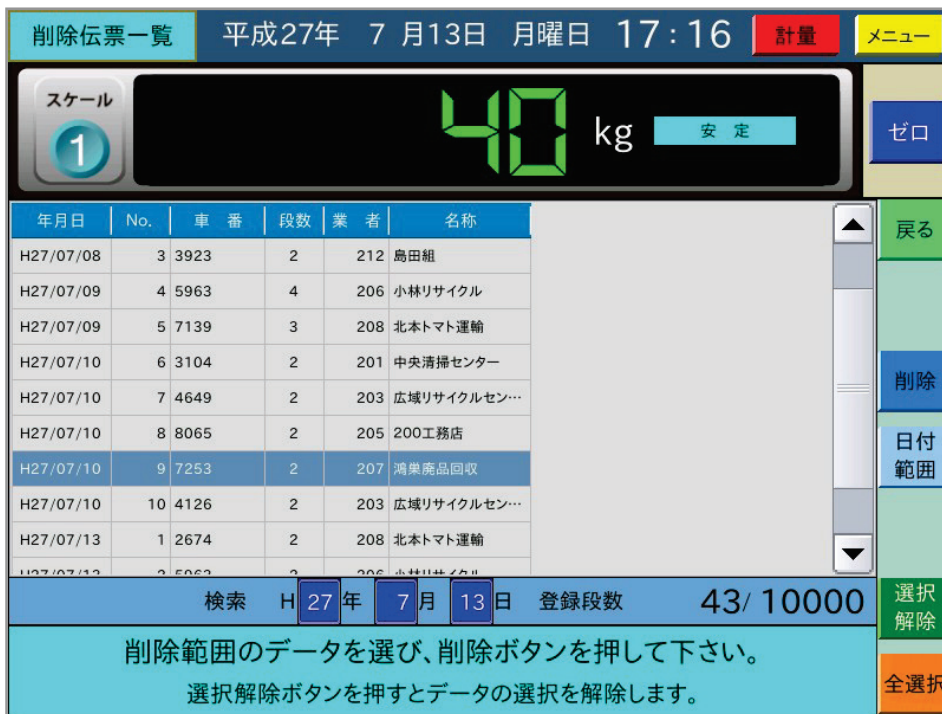
**削除** ボタンを押すことで全ての伝票データを削除し、削除した後に伝票番号を設定します。

メニュー画面の伝票操作選択より **3：伝票削除** に入り、伝票一覧表示をしたところで削除する伝票を選択すると **1件削除** と **範囲指定** のダイアログを表示します。



**1件削除** ボタンを押すと、選択した1件を削除し伝票一覧画面に戻ります。  
1件削除では、伝票番号の設定画面は表示されません。現在の伝票番号の続きによる連番となります。

**範囲指定** ボタンを押すと、範囲指定となり最初に選択した伝票の一覧画面に戻ります。



次に削除する最後の伝票を選択し、削除する範囲を指定します。



削除伝票一覧 平成27年 7月13日 月曜日 17:16 計量 メニュー

スケール 1 40 kg 安定 ゼロ

年月日	No.	車番	段数	業者	名称
H27/07/08	3	3923	2	212	島田組
H27/07/09	4	5963	4	206	小林リサイクル
H27/07/09	5	7139	3	208	北本トマト運輸
H27/07/10	6	3104	2	201	中央清掃センター
H27/07/10	7	4649	2	203	広域リサイクルセン...
H27/07/10	8	8065	2	205	200工務店
H27/07/10	9	7253	2	207	鴻業商品回収
H27/07/10	10	4126	2	203	広域リサイクルセン...
H27/07/13	1	2674	2	208	北本トマト運輸
H27/07/13	2	5963	2	206	小林リサイクル

検索 H 27 年 7 月 13 日 登録段数 43/10000

削除範囲のデータを選び、削除ボタンを押して下さい。  
 選択解除ボタンを押すとデータの選択を解除します。

戻る 削除 日付範囲 選択解除 全選択

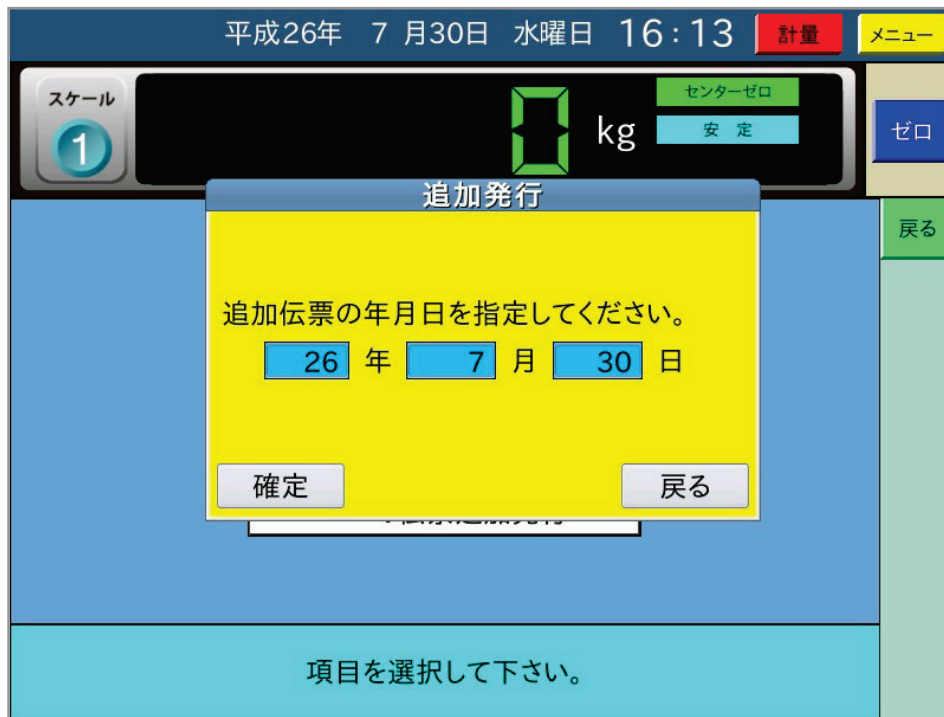
画面右端の **削除** ボタンで選択した範囲の伝票を削除します。

削除した後に、伝票番号の設定を促すダイアログが表示されますので、伝票番号の変更が必要な場合には入力してください。

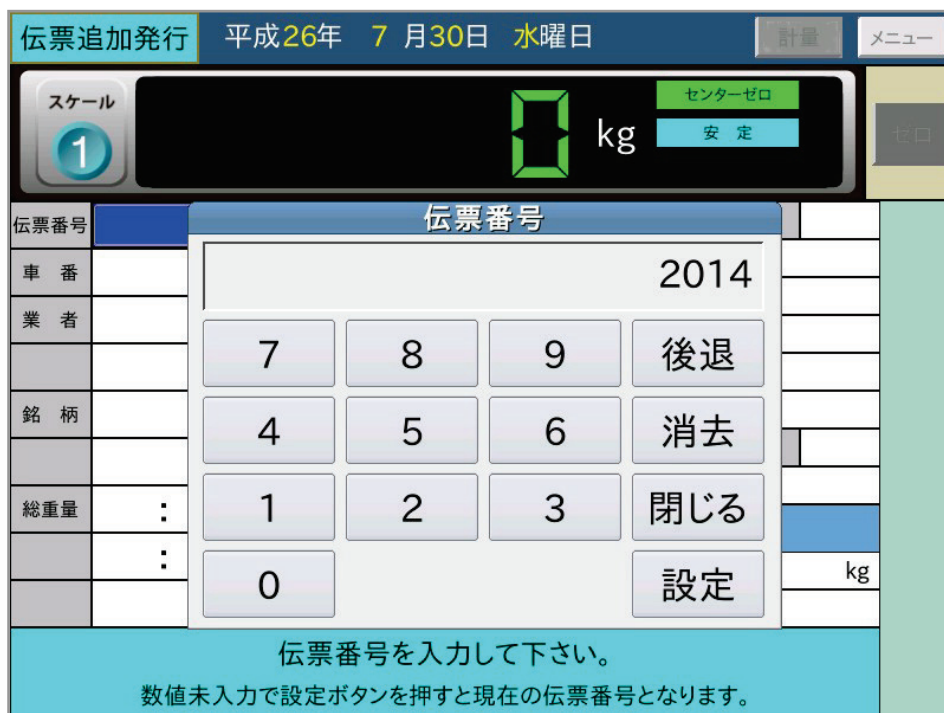
### 5-1-4 伝票追加発行

予め使用する設定になっている時に機能するもので、計量せずに計量データを入力して伝票発行をします。

4. 伝票追加発行 を選択すると、その日の年月日を表示したダイアログを表示します。ここで日付の変更をしないで **確定** ボタンを押すと、その日を日付とした 伝票追加発行画面 を表示します。



日付を変更して **確定** ボタンを押すと、変更した日を日付とした 伝票追加発行画面 を表示します。



伝票番号から順に入力していき、総重量の入力が全て終了したら **総重** ボタン①を押します。薄い青の表示部を押すと入力したデータを変更することができます。

伝票追加発行		平成26年 7月30日 水曜日		計量	メニュー
スケール	1	kg		センターゼロ	安定
伝票番号	2014				戻る
車番	1234				
業者	150 ABC産業株式会社				
銘柄					
総重量	15 : 17	7560	kg		
	:		kg	合計重量	kg
			kg		
<b>総重</b> ボタンを押して下さい。 反転している項目を押して入力を変更することもできます。					

**総重** ボタンを押すと次の1段目データを入力します。入力し終わると、以降は計量と同じで2段目が有る場合には **空車** ボタン③を、終わる場合には **印字** ボタン②を押します。

伝票追加発行		平成26年 7月30日 水曜日		計量	メニュー
スケール	1	kg		センターゼロ	安定
伝票番号	2014				戻る
車番	1234				
業者	150 ABC産業株式会社				
銘柄	10 資源-A				印字
総重量	15 : 17	7560	kg		
1段目	15 : 28	5420	kg	合計重量	kg
正味重量		2140	kg		
<b>空車</b> (段追加) 又は <b>印字</b> (伝票発行) ボタンを押して下さい。 反転している項目を押して入力を変更することもできます。					

入力した伝票番号が重複した場合には、連番の次の伝票番号が自動的に入力されます。総重量、各段重量の“時”を入力しないで **設定** ボタンを押すと、時刻無しになります。**印字** ボタンを押した後、登録確認のダイアログ、印字確認のダイアログを順に表示します。それぞれ必要ならば **はい** のボタンを押してください。入力を間違えたときはダイアログを閉じてから、**入力戻り** ボタンを押します。**空車** **印字** ボタンを押す前に薄い青色の部分を押すと、伝票データを変更できます。時分を入力する箇所では“24”を入力すると時刻無し（blank）となります。ここで伝票発行すると最下行に“法定計量外”を印字します。

### 5-1-5 伝票データのUSBメモリへの出力

計量した伝票データをUSBメモリに書き込みます。

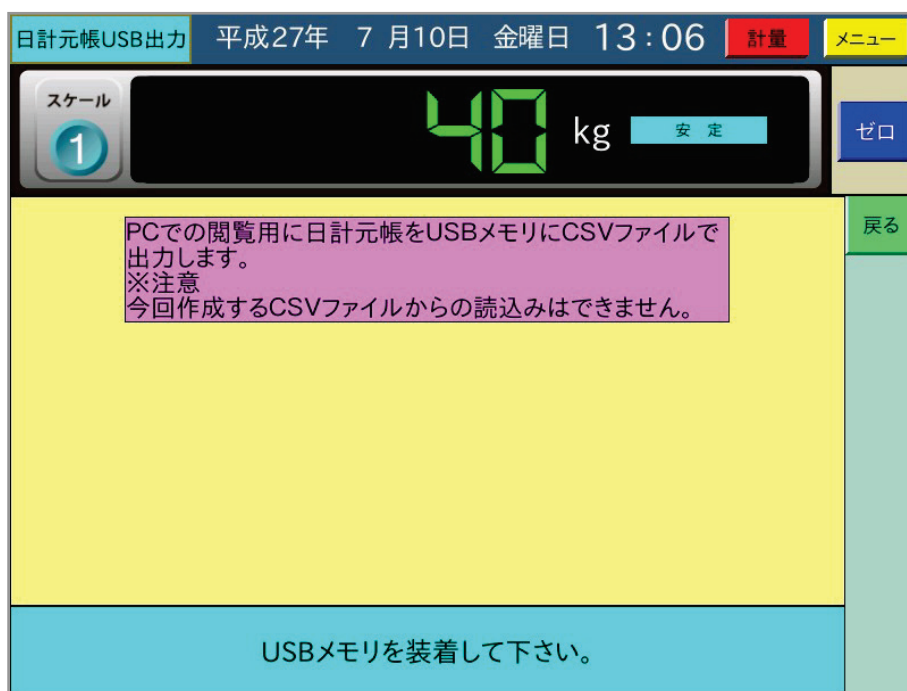
本機能はPCでの閲覧用です。銘柄、業者などのコード番号と共に、名称も追加しています。さらに、日計元帳一覧としてわかり易いように、不要なデータは出力せず、必要なデータを左から順に並べています。

出力するファイル名は“Motocho\_Ichiran.csv”です。

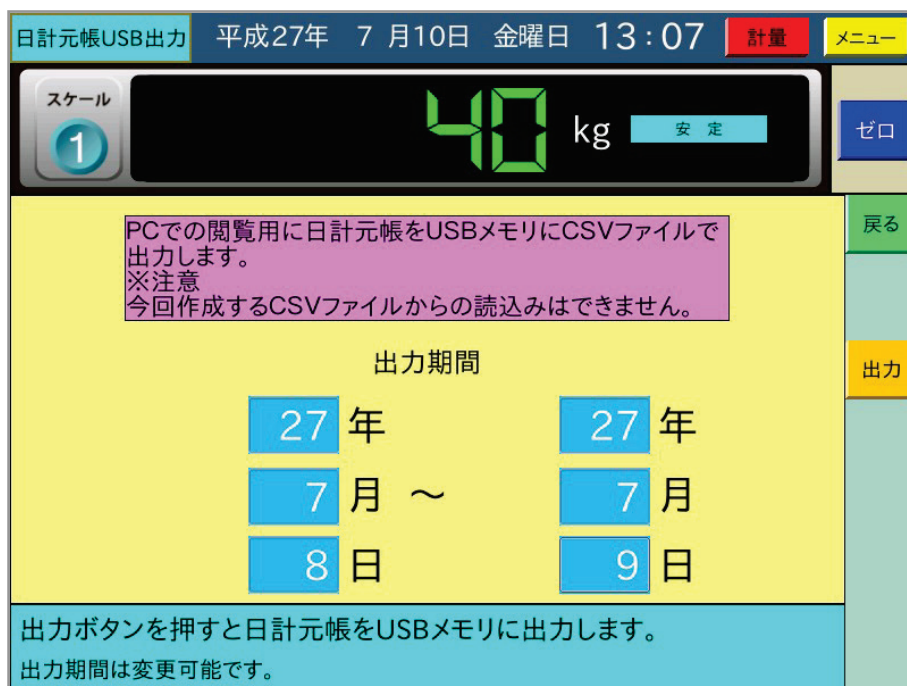
(注意)

本機能は書き込みのみで、本機能により書き込んだデータの読み込みはできません。

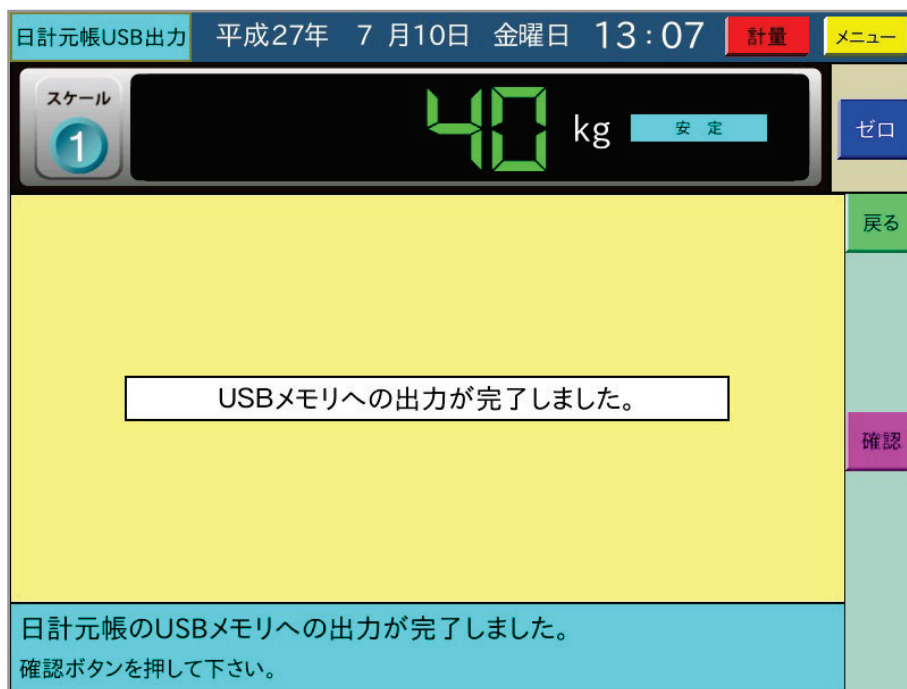
5. USBメモリへの出力 を選択すると、以下の画面になりますので、USBメモリを装着してください。(USBメモリ装着済みの場合は、以下の画面は表示しません。)



USBメモリを装着すると、USBメモリ上の全データを出力期間として表示します。



ここで、必要に応じて出力期間を変更して「出力」ボタンを押すと、指定した期間の日計元帳データをUSBメモリにCSVファイルで書き込みます。  
正常に終了すると、以下の画面になります。



PC上での日計元帳のファイル例です。

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled 'Motocho Ichiran.csv'. The spreadsheet contains a table with the following columns: A (年月日), B (伝票番号), C (段), D (車番), E (業者), F (名称), G (銘柄), H (名称), I (前段時分), J (前段重量), K (計量段時分), L (計量段重量), M (正味重量), N (入出荷). The data is organized into rows for different dates and segments, with summary rows for each date.

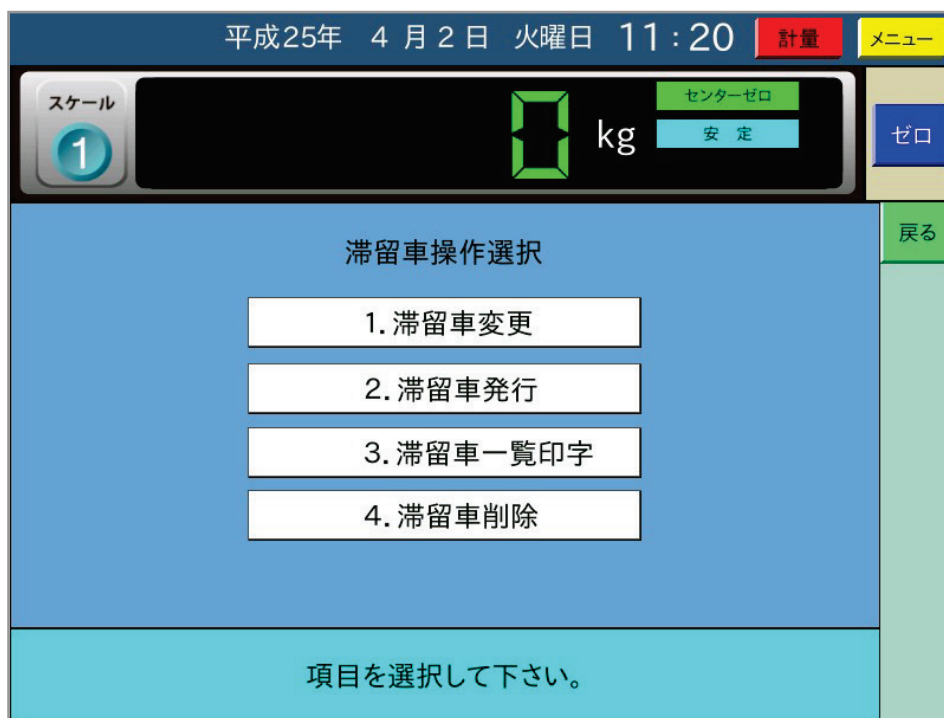
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
年月日	伝票番号	段	車番	業者	名称	銘柄	名称	前段時分	前段重量	計量段時分	計量段重量	正味重量	入出荷
H27.7.8	1	0	4126	203	広域リサイクルセンターABC					8:35	7730		
		1				106	粗大ゴミー	8:35	7730	8:40	6420	1310	0
		2				108	古新聞	8:40	6420	8:43	2940	3480	0
		合計										4790	0
H27.7.8	2	0	6580	207	鴻巣廃品回収					9:31	10090		
		1				107	古タイヤ	9:31	10090	9:39	8450	1640	0
		2				110	空缶	9:39	8450	9:45	6050	2400	0
		3				115	残土	9:45	6050	9:47	4910	1140	0
		合計										5180	
H27.7.8	3	0	3923	212	島田組					11:29	5050		
		1				102	普通灰-2	11:29	5050	11:45	3870	1180	0
		2				118	危険物-泥	11:45	3870	11:56	3150	720	0
		合計										1900	
H27.7.9	4	0	5963	206	小林リサイクル					9:24	11330		
		1				109	産業廃棄物	9:24	11330	9:40	9010	2320	0
		2				111	無筋がれき	9:40	9010	9:58	7140	1870	0
		3				107	古タイヤ	9:58	7140	10:05	6280	860	0
		4				113	コンクリート	10:05	6280	10:24	3440	2840	0
		合計										7890	
H27.7.9	5	0	7139	208	北本トマト運輸					11:45	9340		
		1				103	一般廃棄	11:45	9340	13:06	6760	2580	0
		2				105	粗大ゴミー	13:06	6760	13:20	5450	1310	0
		3				109	産業廃棄物	13:20	5450	13:29	2970	2480	0
		合計										6370	
H27.7.9	6	0	8065	202	南区清掃センター					14:14	1670		
		1				104	粗大ゴミー	14:14	1670	14:25	3840	2170	1
		2				108	古新聞	14:25	3840	14:29	4620	780	1
		合計										2950	

入出荷の条件は以下の通りです。

- 前段重量 ≥ 計量段重量で入荷 (入出荷の値 0)
- 前段重量 < 計量段重量で出荷 (入出荷の値 1)

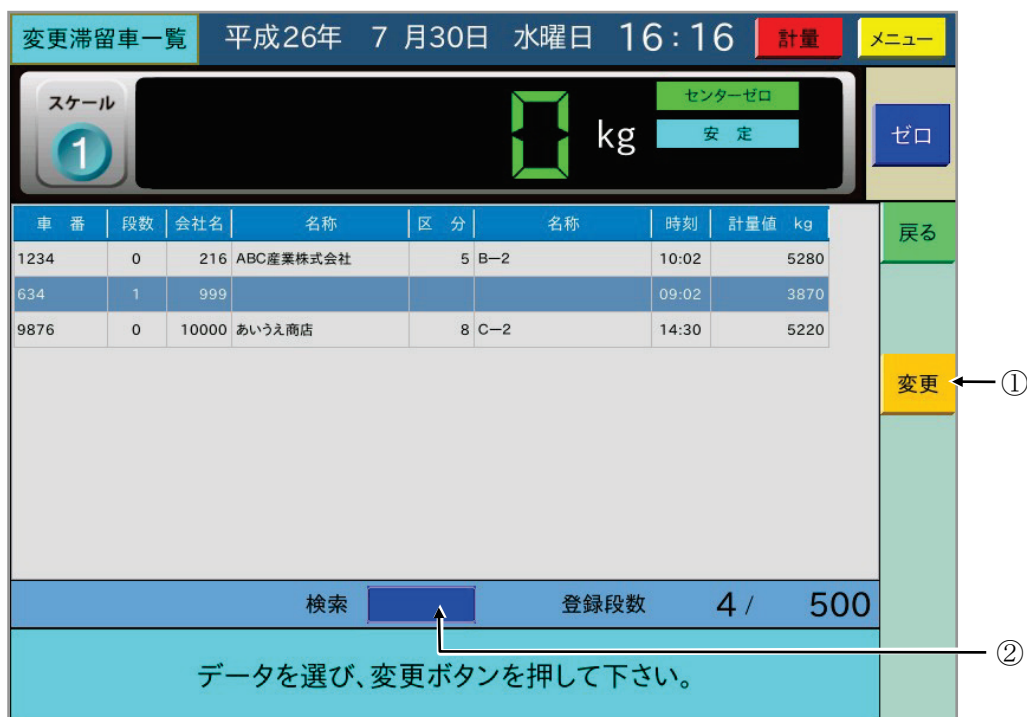
## 5-2 滞留車

メインメニューで **2. 滞留車** を選択すると、滞留車操作選択画面が表示され操作を選択できます。



### 5-2-1 滞留車変更

**1. 滞留車変更** を選択すると、以下の画面のように滞留車の一覧が表示されます。



ここで、変更する滞留車の行を押すと反転表示になり、**変更** ボタン①を押すと滞留車変更画面で選択した滞留車データが表示されます。

検索の車番②を入力すると、入力した車番の滞留車が反転表示します。

滞留車変更 平成26年 7月30日 水曜日 16:16 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 ゼロ

⑤ 会社名 999 車番 634 品名 3段目 : kg kg 戻る ⑥

区分 0

総重量 9:01 4780 kg

品名 115 残土 品名 設定完了 ⑦

1段目 9:02 3870 kg 910 kg 4段目 : kg kg

品名 画面切替 ⑧

2段目 : kg kg 5段目 : kg kg

設定完了ボタンを押すと滞留車を保存します。  
反転している項目を押すと入力を変更することができます。

ここで、各段に表示する薄い青色部分(例として⑤など)を押して滞留車データが変更可能です。  
設定完了 ボタン⑦で修正したデータを必要に応じ登録/印字を行い滞留車データが変更されます。

画面切替 ボタン⑧を押すと、6段目以降を表示します。

## 5-2-2 滞留車発行

2.滞留車発行 を選択すると、以下の画面のように滞留車の一覧が表示されます。

発行滞留車一覧 平成26年 7月30日 水曜日 16:17 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 ゼロ

車番	段数	会社名	名称	区分	名称	時刻	計量値 kg
1234	0	216	ABC産業株式会社	5	B-2	10:02	5280
634	1	999				09:02	3870
9876	0	10000	あいうえ商店	8	C-2	14:30	5220

戻る

滞留車発行 ①

検索 登録段数 4 / 500

② データを選び、滞留車発行ボタンを押して下さい。

ここで、伝票発行する滞留車の行を押すと反転表示になり、滞留車発行 ボタン①を押すと、滞留車発行画面で選択した滞留車データが表示されます。

検索②に車番を入力すると、入力した車番の滞留車が反転表示します。

滞留車発行		平成26年 7月30日 水曜日 16:17		計量	メニュー
スケール	1	0 kg		センターゼロ	安定
伝票番号		コード番号		戻る	①
車番	634	0		印字	②
会社名	999	7	8		
区分	0	4	5	6	消去
品名	0	1	2	3	閉じる
1段目	9 : 0	0		設定	
空車重量	:			kg	
正味重量					
品名を入力して下さい。					
コード番号未入力で設定ボタンを押してコード番号無しとすることもできます。					

多段仕様での滞留車発行は、最終段の空車重量をキー入力し計量を終了させる動作となります。最後の銘柄を入力し空車重量、必要な補正入力を行うと **印字** ボタン②を表示します。ボタンを押すと登録／印字を選択し滞留車発行を行います。

**戻る** ボタン①で前の一覧表示に戻ります。



### 5-2-3 滞留車一覧印字

3. 滞留車一覧印字 を選択すると、滞留車の一覧を表示します。  
ここで、一覧印字する滞留車の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。

車番	段数	会社名	名称	区分	名称	時刻	計量値 kg
100200	1	1	1234567890ABCD	2		17:59	410
11111	0	12345	12345678901234	100		11:40	5660
1234	0	1	1234567890ABCD	2		10:8	480
5678	3	1102	200工務店	10	廃棄不燃300	11:47	1290
6789	3	1200	123金属第1工場	20	廃棄可燃2551	11:47	1290
7890	4	1010	中央清掃センター	10	廃棄不燃300	11:47	1170

一覧印字 ボタン①を押すと、確認のダイアログを表示した後、選択した滞留車の一覧印字をします。

選択解除 ボタン②を押すと選択を解除し、全選択 ボタン③を押すと、全ての滞留車データを選択します。

### 5-2-4 滞留車削除

4. 滞留車削除 を選択すると、滞留車の一覧を表示します。  
ここで、削除する滞留車の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。  
基本的な操作方法は上記の一覧印字と同じです。

削除 ボタンを押すと確認のダイアログを表示した後、選択した滞留車を削除します。

選択解除 ボタンを押すと選択を解除し、全選択 ボタンを押すと、全ての滞留車データを選択します。

## 5-3 集計

メインメニューで **3.集計** を選択すると、以下の画面を表示します。

集計条件 平成26年 7月17日 木曜日 14:39 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 ゼロ

kg

掛け合わせ項目 集計期間 戻る

1 平成 26年 平成 26年

2 7月 ~ 7月

3 17日 17日

① 車番 業者 銘柄 ② キャンセル ③

集計を行う項目の掛け合わせを指定して下さい。  
集計条件確定前に集計期間を変更することもできます。

以下の手順により日計元帳の集計を行います。

1) 集計の掛け合わせ項目①を最大3つまで選択します。

直前の入力を取り消すには **キャンセル** ボタン②を押します。

2) 集計期間③を変更します。現在の年月日の1日の集計の場合、変更は不要です。

掛け合わせ項目の選択、集計期間の変更をすると以下の画面になります。

集計条件 平成26年 7月17日 木曜日 14:39 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 ゼロ

kg

掛け合わせ項目 集計期間 戻る

1 業者 平成 26年 平成 26年

2 銘柄 7月 ~ 7月

3 車番 17日 17日

業者 銘柄 キャンセル

確定

集計を行う項目の掛け合わせを指定して下さい。  
条件の指定が完了したら確定ボタンを押して下さい。

ここで、**確定** ボタンを押すと集計結果を表示します。

集計一覧 平成26年 7月17日 木曜日 14:40 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 kg ゼロ

業 者	名 称	銘 柄	名 称	業 者 別 回 数	
101	広域リサイクルセンター	303	ダンボール	4	戻る
		306	タイヤ		
		309	ペットボトル		
102	あいうえお商店	301	石灰砕砂	1	印字 ①
103	株式会社MBS	302	メサライト	3	
		305	鉄屑		
		310	空缶		選択解除 ②
105	北本金属鴻巣第二工場	303	ダンボール	4	

集計期間 平成 26年 7月 17日 ~ 平成 26年 7月 17日

印字ボタンを押すと集計印字を行います。  
 選択解除ボタンを押すとデータを選択を解除します。

最初に集計結果を全て選択した状態になります。[印字] ボタン①を押すと確認のダイアログを表示した後、集計印字を行います。

印字範囲を選択したい場合は [選択解除] ボタン②を押した後、印字する集計データの始めと終わりを指定してから [印字] ボタン①を押します。

## 5-4 車番登録

メインメニューで **4. 車番登録** を選択すると車番登録の一覧を表示します。

### (新規登録)

一覧表示画面で **新規登録** ボタン①を押すと新規車番登録画面となり、車番入力用のダイアログを表示します。

車番 → コード番号 → 空車重量 → 車両総重量の順に入力し、**登録** ボタンを押します。

車番登録前に薄い青色部分を押して、車番登録データを変更することができます。

空車重量を“0”で登録すると各段共通の項目の登録、車両総重量の登録として動作します。

### (変更)

車番登録一覧画面で変更する車番の行を押すと以下の画面になります。

車番	会社名	名称	空車重量 kg	車両総重量 kg
1234	201	中央清掃センター	1500	10000
2345	202	南区清掃センター	1500	0
3456	203	広域リサイクルセンターA...	0	7500
4567	204	100木工所	2000	18000
5678	205	200工務店	1200	0
6789	206	小林リサイクル	0	10000
7253	210	野呂商事	2800	0
7890	207	鴻巣廃品回収	2000	15000
8901	208	北本トマト運輸	0	0

ここで **変更** ボタン②を押すと、車番登録変更画面に選択した車番登録データを表示します。薄い青色部分を押して車番登録データを変更して、**登録** ボタンを押します。

### (一覧印字／削除)

一覧印字／削除する車番登録の行の始めと終わりを押すと選択した範囲が反転表示します。

ここで **一覧印字** ボタン③／ **削除** ボタン④を押すと、選択した車番登録を一覧印字／削除します。

**選択解除** ボタン⑤を押すと選択を解除し、**全選択** ボタン⑥を押すと全ての車番登録データを選択します。

一覧表示画面で検索の車番を入力すると、入力した車番の登録データが反転表示します。

### 車番登録の最大桁数

項目	最大桁数	入力範囲
車番	8文字	0～9、A～Z
項目コード	5桁	0～99999
空車重量	6桁(小数点含)	0～99999
車両総重量	6桁(小数点含)	0～99999

## 5-5 名称登録

メインメニューで **5. 名称登録** を選択すると、以下の画面を表示し、名称の種類を選択します。

平成25年 4月2日 火曜日 17:49 計量 メニュー

スケール 1 センターゼロ 安定 kg

ゼロ

戻る

名称登録

1. 業者

2. 行先

3. 銘柄

項目を選択して下さい。

1～3は内部設定で項目を使用する場合のみ表示します。

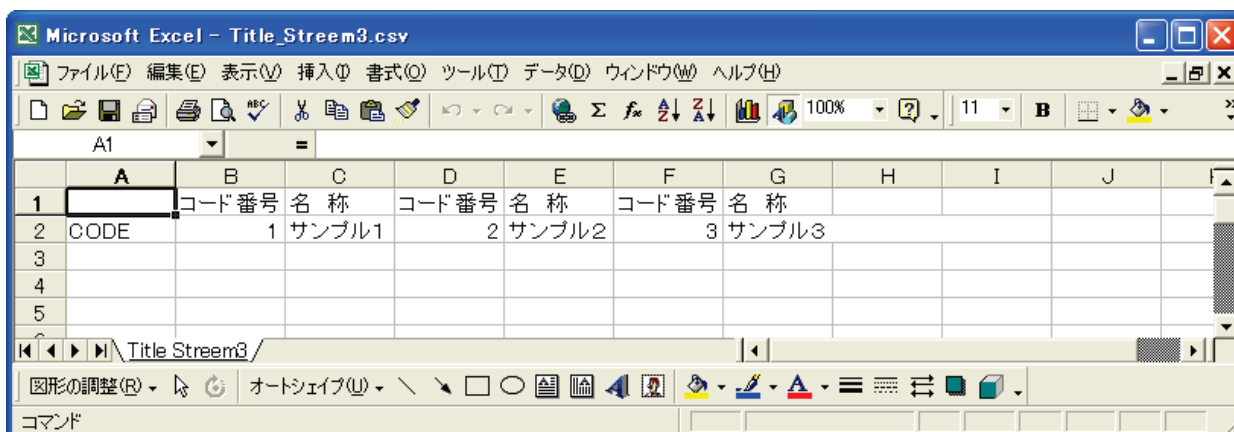
1～3は項目ごとにコード番号に対し名称を、新規登録、変更、一覧印字、削除を行います、それぞれの操作手順は同じです。

コード番号は最大5桁、名称は最大14文字まで入力可能です。

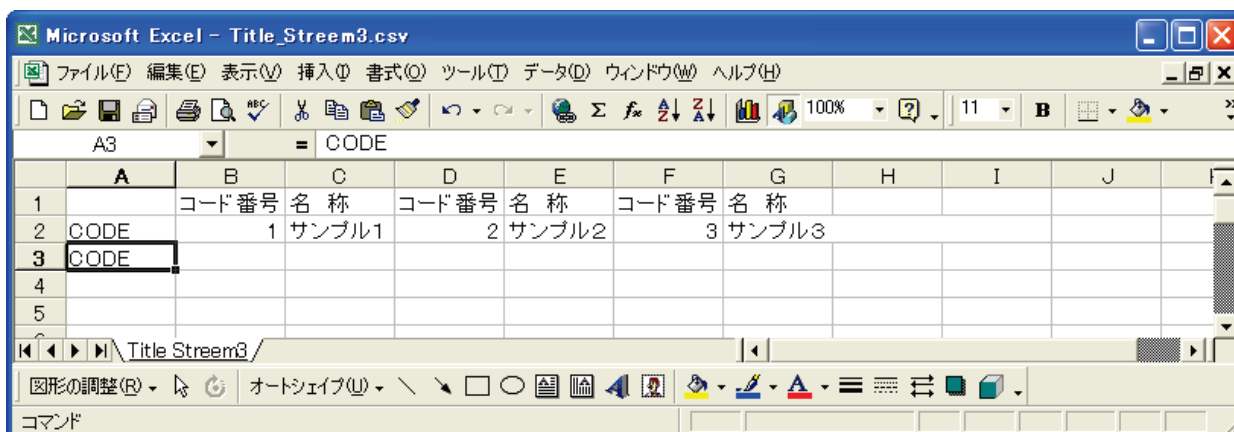
## PC上で編集した名称データのCSVファイルの読み込みについて

名称データの新規登録は以下の 5-5-1 に示す手順によりAD-4352上で行うことが可能ですが、件数が増える場合は、登録する名称データをPC上で編集し、そのCSVファイルを読み込むことで作業が効率的に行えます。以下、その手順の一例を示します。

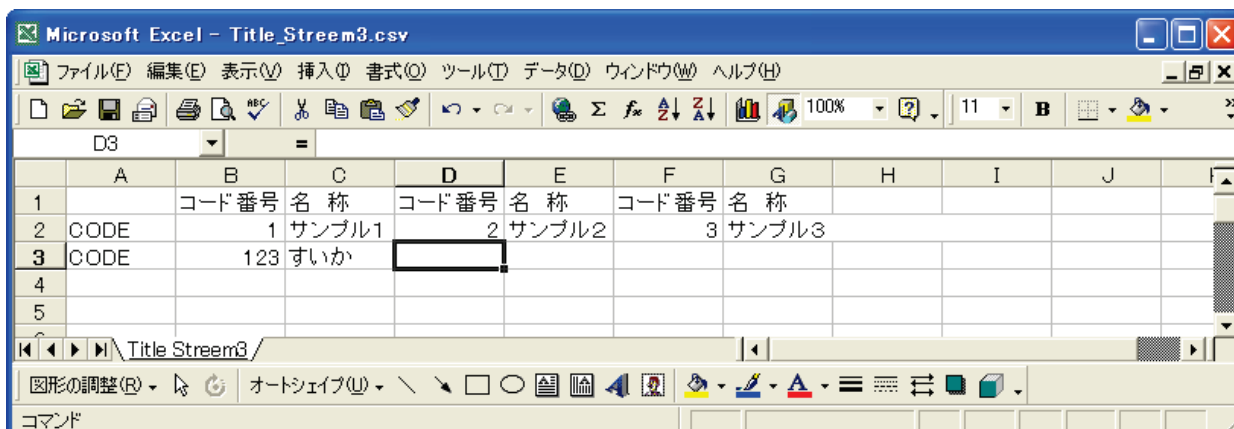
- ① AD-4352上で3件（CSVファイルの1行）分の名称登録を行う。
- ② ユーザー保守の「5：データの保存・読込」より、USBメモリに名称データを書き込む。
- ③ PC上でCSVファイルをエクセルで開く。  
以下のような画面になります。



- ④ ここで、次の行の一番左の列に“CODE”をコピーして貼り付けます。  
※ 名称データの一番左の列には必ず“CODE”が必要になります。



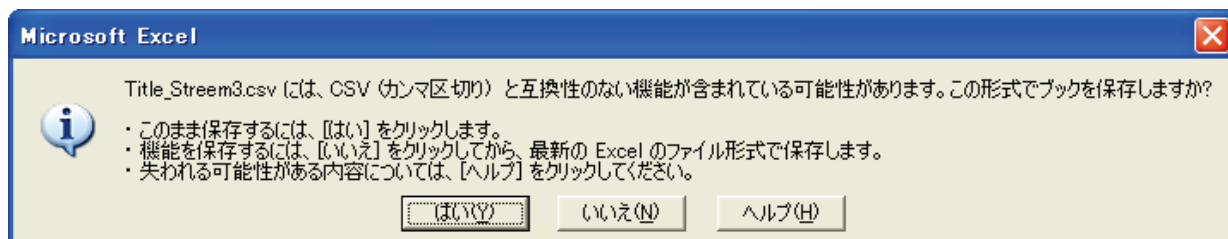
- ⑤ その次の列に重複しないコード番号、さらに次の列に全角最大14文字で名称を入力します。  
※ 1つの名称データは必ずコード番号/名称の組み合わせになります。



- ⑥ コード番号と名称の組み合わせは1行に最大3つまで入力可能です。また、1行に1つまたは2つでも構いません。さらに追加する場合は、一番左の列に“CODE”をコピーして張り付けるところから始めます。
- ⑦ 編集した内容を上書き保存します。  
 下記画面で「保存」ボタンを押します。  
 ※ ファイル名は変更せず、CSVファイルで保存します。



※ 以下のような画面が出てくるかもしれませんが、構わず「はい」を押します。



- ⑧ ユーザー保守の「5：データの保存・読込」より、USBメモリから名称データを読み込みます。

### 注意 1)

A D-4353で表示できる文字はJ I S第一水準とJ I S第二水準のみであり、以下に示すNEC特殊フォントは対応していませんので、PCで登録する名称データを作成する際には注意してください。

①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳

I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX、X

ミリ、キロ、センチ、メートル、グラム、トン、ルー、タール、リットル、ワット、ドル、セント、ペー、バル、ページ

mm、cm、km、mg、kg、cc、m<sup>2</sup>、

平成、No.、KK、Tel、①、②、③、④、⑤、明記、大正、昭和

≡、≡、∫、∫、Σ、√、⊥、∠、⊥、△、∴、∩、∪

J I S第一水準、第二水準以外の文字を読み込んだ場合には★マークとして表示しますので、改めて登録し直す作業をお願いします。

例外として、“株”は“(”“株”“)”の3文字として読み込み、同様に(有)、(代)も3文字に置き換え読み込みます。

### 注意 2)

PCで項目名称登録データを作成の際に、半角文字で作成したデータは読み込み可能ですが、この名称データを含んだ計量伝票を発行すると、印字不良を起こします。

PCで項目名称データを編集する際は、必ず全角で行うようお願いします。

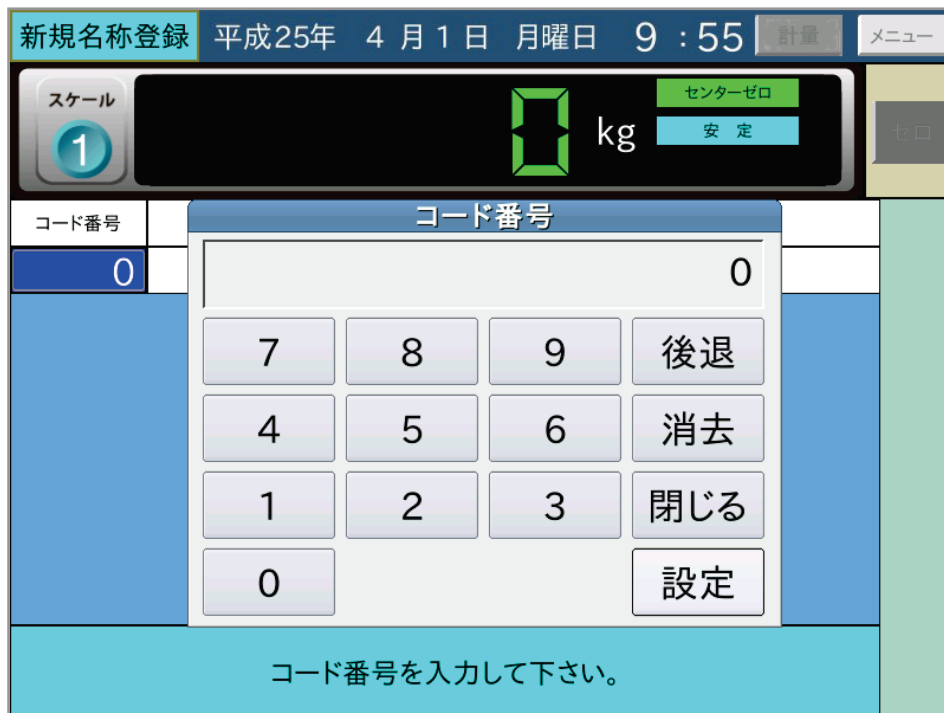
### 注意 3)

PC上で編集した名称データを最大登録件数(4000件)を超えての読み込みは可能ですが、動作の保障はできません。他の登録データも同様です。

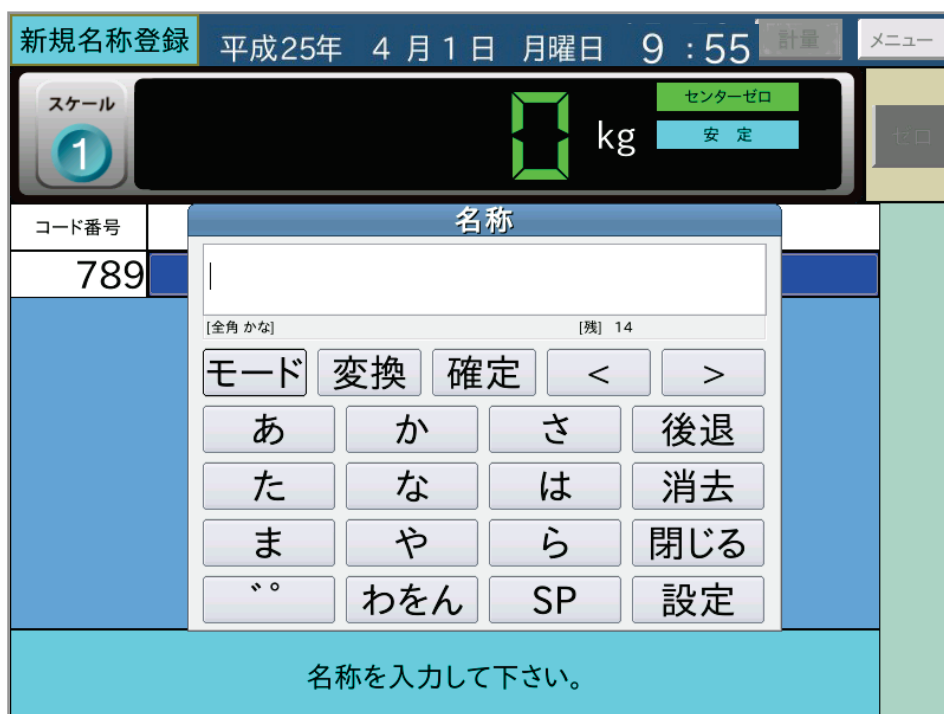


### 5-5-1 新規名称登録

3. 銘柄 を選択すると、銘柄のコード番号に対する名称の一覧を表示します。  
ここで **新規登録** ボタンを押すと、以下のように新規名称登録画面になり、コード番号入力のダイアログを表示します。



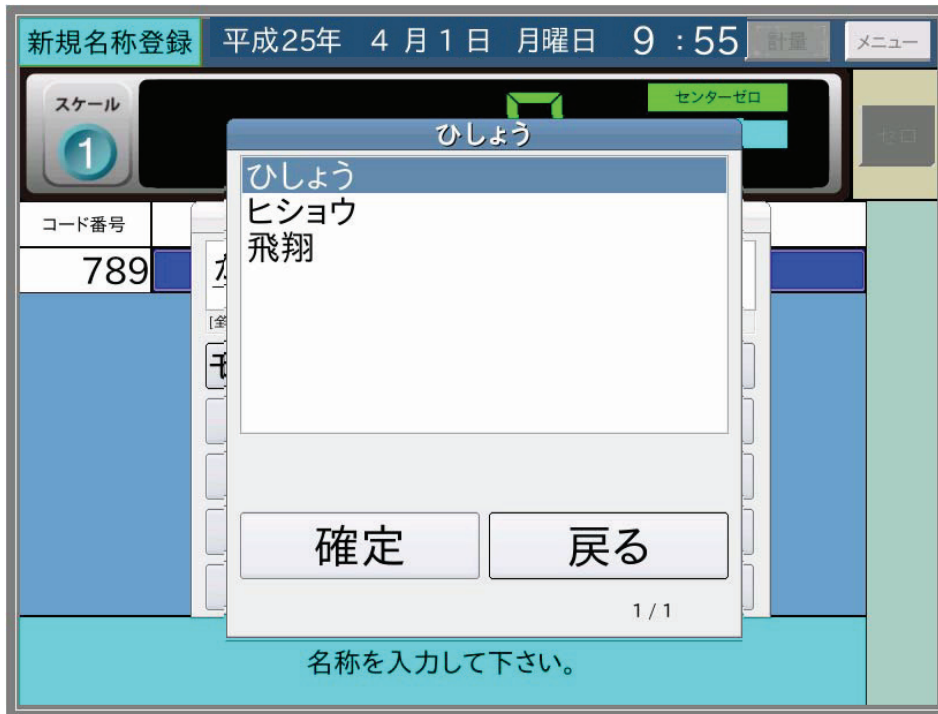
ここでコード番号を入力すると、名称登録のダイアログを表示します。



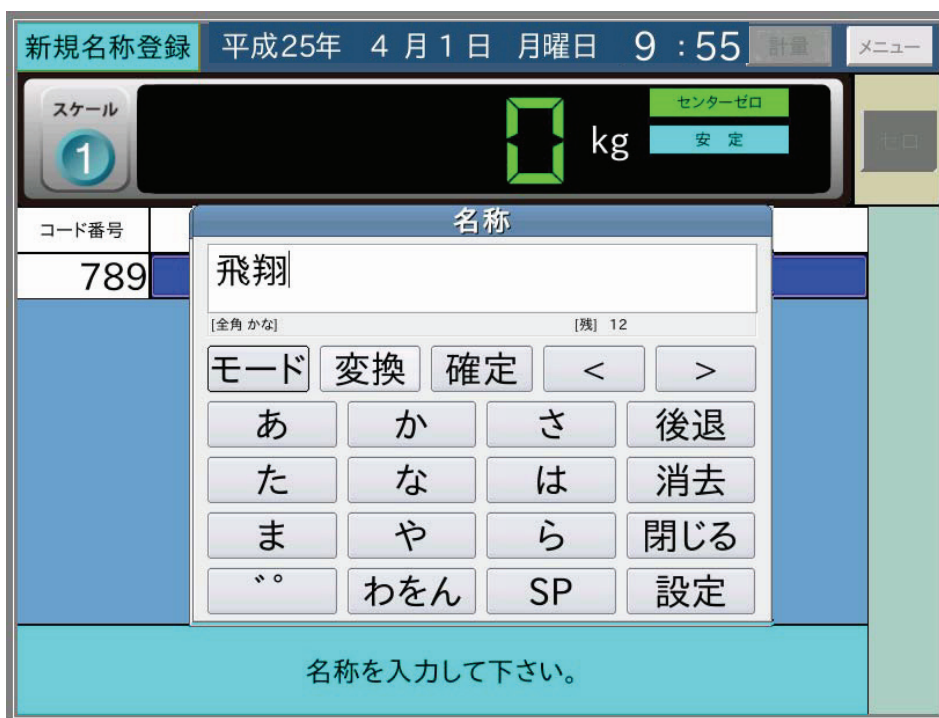
“あ” “か” などの文字のボタンは平仮名の50音の各行の先頭を示します。  
 続けて押すと、“あ” → “い” → “う” → “え” → “お” のように文字が変化していきます。  
 モードボタンは 全角かな→全角英字→全角数字→全角かな と入力文字の種類を変化させます。  
 [変換] ボタンは、かな入力を漢字に変換して変換候補を表示させます。  
 [確定] ボタンは、かな入力を漢字に変換せずに確定させます。  
 “<” “>” ボタンは、入力した文字の間を移動して文字を挿入するときに使用します。

例えば、“飛翔珪砂-5号”を名称登録する場合を以下に示します。

“ひ” “し” “ょ” “う” と順に入力して [変換] ボタンを押すと、以下のように変換候補を表示します。

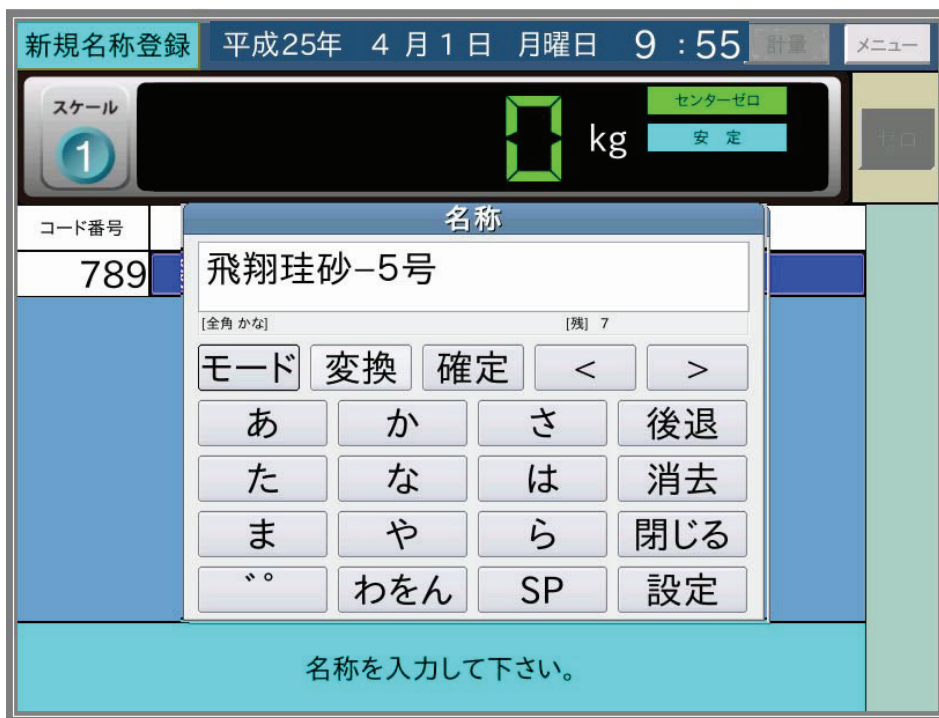


“飛翔”を選択して [確定] ボタンを押すと以下のような表示になります。



さらに、“けい” **変換** “珪”、“さ” **変換** “砂”、と入力し“珪砂”を入力。

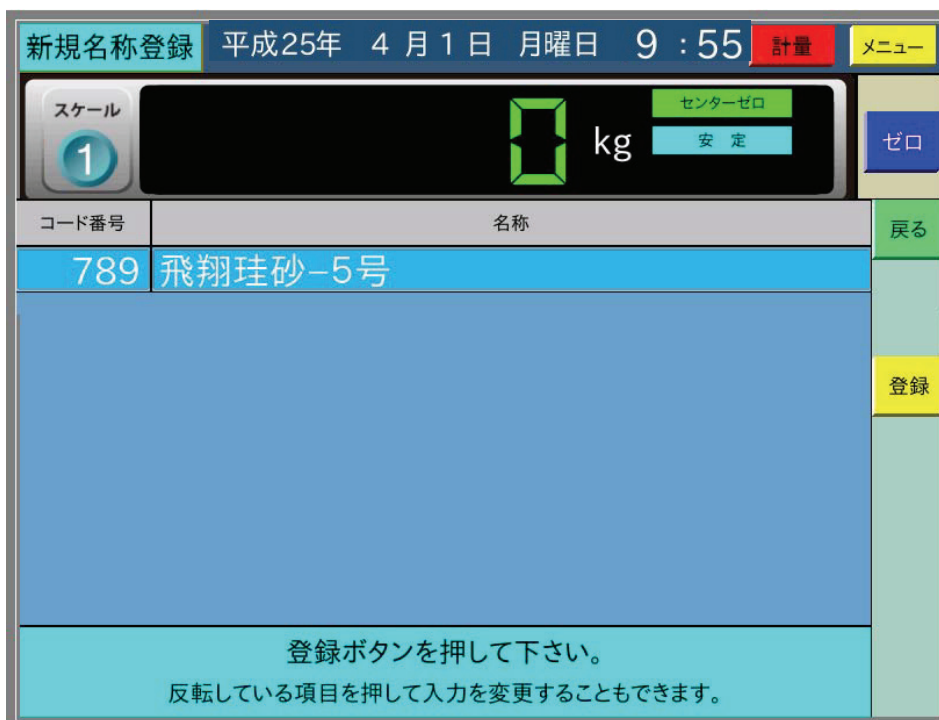
**SP** ボタンを押していき“ ” → “、” → “。” → “-”が表示されたら **モード** ボタンを押し“5”を入力、続けて **モード** ボタンを押して“ごう”変換ボタンで、“珪砂-5号”と入力します。



名称登録データがこれで良ければ **設定** ボタンを押します。

すると以下のような表示になり、**登録** ボタンを押すと入力データを登録します。

**登録** ボタンを押す前に薄い青色部分を押せば、名称登録データを変更することができます。



(入力できる記号)



“	“ (濁音の点) 。 (ば、ぴなどのマル)
SP	(スペース)、(句点) 。(まる) - (ハイフン) ・(中央点) ! ?



{ [(	{ → } → [ → ] → ( → ) → < → > →   → /
@ * #	@ → * → # → ¥ → % → \$ → & → + → - → ! → ? → =
SP	(スペース) → “ → ‘ → ^ → ~ → ’ → 、 → . → : → ; → _

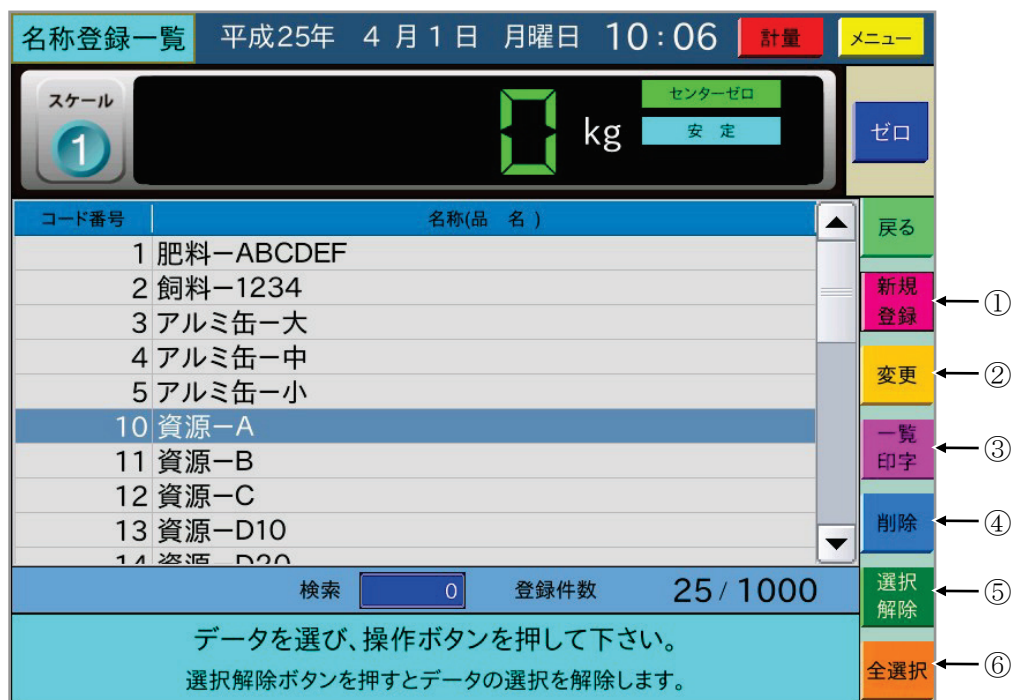


	{ → } → [ → ] → ( → ) → < → > →   → /
SP	(スペース) → “ → ‘ → ^ → ~ → ’ → 、 → . → : → ; → _

## 5-5-2 名称登録変更

名称登録の種類として **3. 銘柄** を選択すると、銘柄のコード番号に対する名称の一覧を表示します。

ここで、変更する名称登録の行を押すと押した行が反転表示し、**変更** ボタン②を押すと名称登録変更画面に選択した名称登録データを表示します。



名称登録変更画面では、薄い青色部分を押して名称登録データを変更してから、**登録** ボタンを押します。

名称の入力方法は新規名称登録と同じです。

## 5-5-3 名称登録一覧印字／削除

一覧印字／削除する名称登録の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。

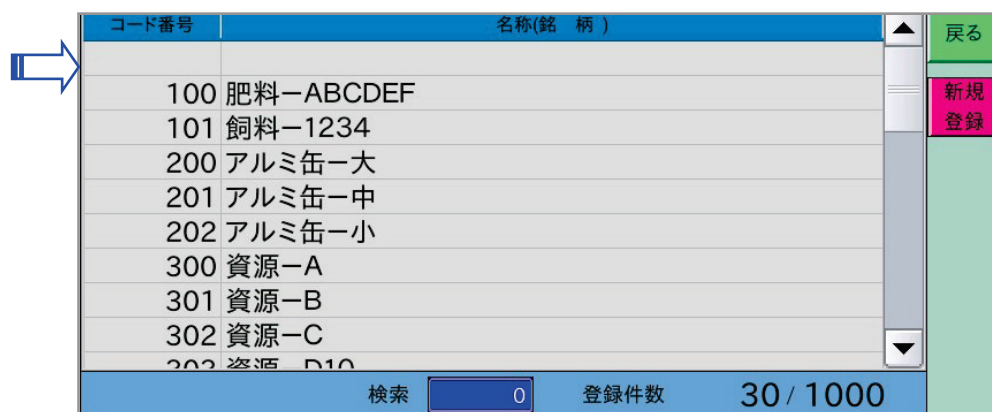
ここで **一覧印字** ボタン③／**削除** ボタン④を押すと、選択した名称登録を一覧印字／削除します。

**選択解除** ボタン⑤を押すと選択を解除し、**全選択** ボタン⑥を押すと全ての車番登録データを選択します。

一覧表示画面で検索のコード番号を入力すると、入力したコード番号の名称が反転表示します。

## 5-5-4 コード番号0の登録

コード番号を0のまま新規登録すると、コード番号0で登録名称なし（ブランク）を登録できます。計量画面で名称一覧より選択入力するとき未入力で計量する場合に使用できます。



## 5-6 補正登録

補正には、水分、単価の2種類があります。

内部設定で“登録”を使用する設定の場合に、メニュー画面に表示します。

水分、単価の登録動作は共通なので、ここでは水分登録を例に補正登録を説明します。

メインメニューで **6.水分登録** を選択すると、水分登録の一覧を表示します。

(新規登録)

一覧表示画面で **新規登録** ボタン①を押すと新規水分登録画面となり、車番入力用のダイアログを表示します。

車番／コード番号／水分の順に入力し **登録** ボタンを押します。

車番登録前に薄い青色部分を押して、水分登録データを変更することができます。

補正登録を読み出すための条件は内部設定で、車番、項目1～3を使用するかしないか選択できます。

補正登録では内部設定で使用する項目のみ設定します。車番が未使用ならば最初にコード番号入力になります。

(変更)

水分登録一覧画面で変更する水分登録データの行を押すと以下の画面になります。

車番	業者	名称	銘柄	名称	水分 %
2828	150	ABC産業株式会社	300	危険物-液	3
4949	110	石川建設	10002	資源-B	4
5454	104	鴻業商品回収	301	危険物-油	5
5656	111	古川土建	213	堆肥	7
6464	10	中央清掃センター	202	粗大ゴミ-B	10
7373	103	小林リサイクル	204	古タイヤ	12
9696	107	野呂商事	206	産業廃棄物	15

ここで **変更** ボタン②を押すと、水分登録変更画面で選択した水分登録データを表示します。

薄い青色部分を押して水分登録データを変更して、**登録** ボタンを押します。

(一覧印字／削除)

一覧印字／削除する水分登録の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。

ここで **一覧印字** ボタン③ / **削除** ボタン④を押すと、選択した水分登録を一覧印字／削除します。

**選択解除** ボタン⑤を押すと選択を解除し、**全選択** ボタン⑥を押すと全ての水分登録データを選択します。

補正登録一覧表示では車番を使用する場合は車番による検索、車番を使用しない場合は表の一番左のコード番号により検索します。入力した車番及びコード番号の補正登録が反転表示されます。

## 補正登録の最大桁数

項目	最大桁数	入力範囲
車番	8文字	0～9、A～Z
項目コード	5桁	0～99999
水分引	4桁(小数点含)	0～100
単価	6桁(小数点含)	0～99999
基本重量	6桁(小数点含)	0～99999
増加重量	6桁(小数点含)	0.01～99999

## 5-6-1 重量範囲単価

内部設定で単価の使用を重量範囲単価とした場合は、メインメニューで **8. 単価登録** を選択すると重量範囲単価登録の一覧を表示します。

計量時に重量範囲単価を使用する場合は、計量中に入力することはできませんので、必ず登録が必要になります。

(新規登録)

一覧表示画面で **新規登録** ボタン①を押すと新規単価登録画面となり、車番入力用のダイアログを表示します。

車番→コード番号→基本重量→基本金額→増加重量→増加金額の順に入力し、**登録** ボタンを押します。

単価登録前に薄い青色部分を押して、単価登録データを変更することができます。

(変更)

単価登録一覧画面で変更する単価登録データの行を押すと、以下の画面になります。

車番	業者	名称	銘柄	名称	基本重量 kg	基本金額 ¥	増加重
7856	106	エクシブ運送	212	残土	250	100	
8864	101	100木工所	102	普通灰-2	300	500	
9253	109	島田組	209	有筋がれき	600	500	

ここで **変更** ボタン②を押すと、単価登録変更画面で選択した単価登録データを表示します。薄い青色部分を押して水分登録データを変更して、**登録** ボタンを押します。

(一覧印字／削除)

一覧印字／削除する単価登録の行の始めと終わりを押すと、選択した範囲が反転表示します。

ここで **一覧印字** ボタン③ / **削除** ボタン④を押すと、選択した単価登録を一覧印字／削除します。

**選択解除** ボタン⑤を押すと選択を解除し、**全選択** ボタン⑥を押すと全ての単価登録データを選択します。

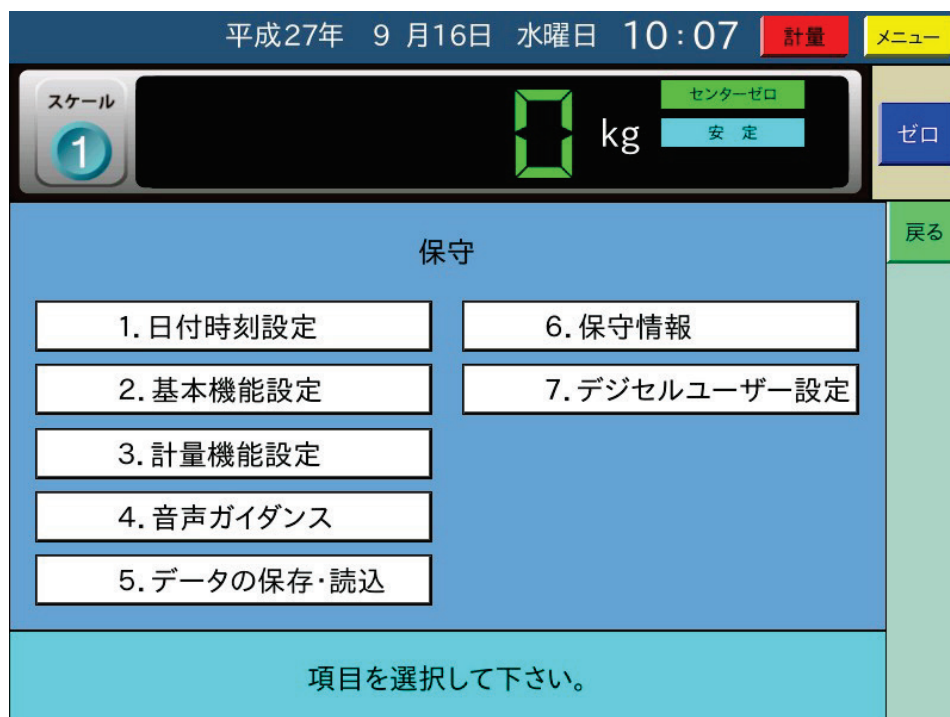
検索機能については、他の補正登録と同様となります。



## 5-7 保守

各種設定、データの保存・読み込みを行います。

メインメニューで **8. 保守** を選択すると、以下の画面を表示します。



### 5-7-1 日付時刻設定

保守メニュー画面で **1. 日付時刻設定** を選択すると以下の画面を表示します。

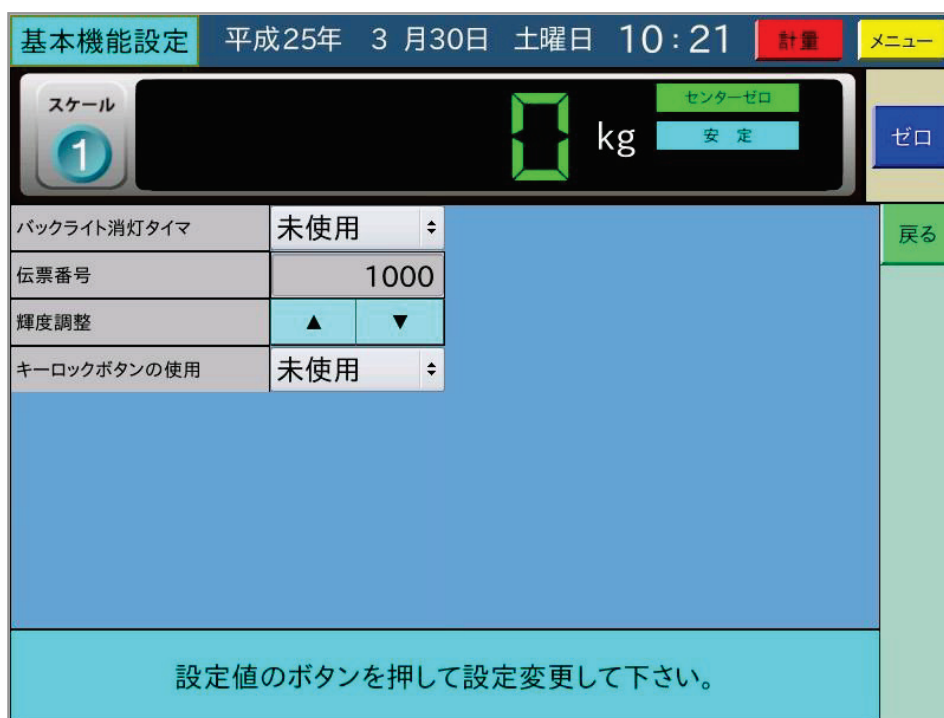
年月日時分の薄い青色部分を押しして設定を変更します。



年、月、日、時、分、のそれぞれを設定しテンキーが消えると、最上部の日付・時間表示部に設定した値を表示して次の設定が可能となります。

## 5-7-2 基本機能設定

保守メニュー画面で **2. 基本機能設定** を選択すると、以下の画面を表示します。



バックライト消灯タイマー	計量モードの待機中のときに、ここで設定した時間に本器の操作、車両の乗車が無かった場合に、液晶画面表示をブランクさせる機能です。 画面のどこかをタッチするか、車両が乗車すると表示します。 設定値：未使用 / 1分 / 3分 / 5分 / 10分
伝票番号	現在の伝票番号を変更できます。番号の表示箇所をタッチすると、テンキーを表示し設定可能となります。同じ伝票番号が存在する場合には、連番の次の伝票番号になります。 また、ここで0を設定した場合、日付が翌日に替わり計量を行うと伝票番号が自動的に1から開始します。
輝度調整	液晶画面の輝度調整を行います。△を押すと画面が明るくなり▽を押すと暗くなります。暗くする設定の方が消費電力を押さえ寿命を長くします。電源を切っても保存します。
キーロックボタン	計量画面でタッチパネルの操作を禁止するためのボタンです。 設定値：使用 / 未使用

初期値は  と、網掛けで示します。

### 5-7-3 計量機能設定

保守メニュー画面で **3. 計量機能設定** を選択すると、以下の画面を表示します。

計量機能設定		平成30年 2月5日 月曜日 16:53		計量	メニュー
スケール	1	センターゼロ	安定	ゼロ	
毎回印字	有り	車番の入力方法	テンキー	戻る	
合計印字	有り	項目コードの入力方法	テンキー		
空車／総重での正味印字	無し	車両総重量	0 kg		
起動時の伝票番号設定	有り	集計印字の幅	A4フル		
登録・集計の印字先	伝票プリンタ				
伝票プリンタへの伝票発行	有り				
レーザープリンタへの伝票発行	無し				
過積載時の処理	計量続行				
過積載の判定重量	総重量				
設定値のボタンを押して設定変更下さい。					

毎回印字	無し：計量の最後にまとめて計量伝票に印字します。 有り：計量毎に計量伝票に各段を印字する計量動作になります。 設定値：無し／有り
合計印字	計量伝票の最後の合計印字の有無を設定します。 設定値：無し／有り
空車／総重での 正味印字	車番を入力せず、総重量、空車を印字する際に正味重量を印字する機能の有無を設定します。 設定値：無し／有り
起動時の 伝票番号の設定	本器を起動したときの伝票番号設定の有無を設定します。 無しの場合には、連番で起動します。 設定値：無し／有り
登録・集計の印字先	登録・集計印字を行うプリンタを指定します。 設定値：伝票プリンタ／レーザープリンタ
伝票プリンタでの 伝票発行	本器に接続した計量伝票での印字条件を設定します。 設定値：無し／有り
レーザープリンタ での伝票発行	レーザープリンタでの伝票印字の有無。 設定値：無し／有り
過積載時の処理	過積載エラー発生後の動作を設定します。 計量禁止では <b>確認</b> ボタンを押すと車番入力待ちになります。 設定値：計量続行／計量禁止
過積載の判定重量	過積載エラーの判定は総重量に対してのみ行います。 設定値：総重量
車番の入力方法	計量時の車番の入力方法を設定します。 設定値：テンキー／車番一覧／滞留車一覧
項目コードの入力方法	計量時の項目コードの入力方法を設定します。 設定値：テンキー／名称一覧
車両総重量	最大積載量を設定します。車番登録に車両総重量の設定が無い場合にこちらの値により過積載の判定を行います。 設定値：0kg
集計印字の幅	集計印字の幅を設定します。 設定値：A4フル／A4半分

初期値は    と、網掛けで示します。

## 5-7-4 音声ガイダンス

保守メニュー画面で **4. 音声ガイダンス** を選択すると、以下の画面を表示します。

音声ガイダンス		平成29年 5月10日 水曜日 16:52	計量	メニュー
スケール	1	kg	安定	ゼロ
ボリューム	中			戻る
起動時	未使用			
トラック乗車	未使用			
総重量計量終了	未使用			
降車待ち	未使用			
各段計量終了	未使用			
過積載	未使用			
ひょう量オーバー	未使用			
乗車音出力回数	1回			
設定値のボタンを押して設定変更して下さい。				

ボリューム	音声のボリュームを設定します。 設定値：音声無し／小／ <b>中</b> ／大
起動時	起動時の音声を設定します。 設定値： <b>未使用</b> ／男声／女声
トラック乗車	トラック乗車時の音声を設定します。 設定値： <b>未使用</b> ／男声／女声／効果音のみ
総重量計量終了	初回の総重の計量が終了したときの音声を設定します。 設定値： <b>未使用</b> ／男声／女声
降車待ち	降車待ちでの音声を設定します。 設定値： <b>未使用</b> ／男声／女声
各段計量終了	伝票発行前の音声を設定します。 設定値： <b>未使用</b> ／男声／女声
過積載	過積載エラー時の音声を設定します。 設定値： <b>未使用</b> ／男声／女声
ひょう量オーバー	ひょう量オーバー時の音声を設定します。 設定値： <b>未使用</b> ／男声／女声
乗車音出力回数	乗車時の音声出力回数を設定します。 <b>1回</b> ／3回／6回／12回／操作 ※操作の場合は、車番入力、トラック降車、計量及びメニューボタンなどの操作があるまで音声出力を続けます。

初期値は  と、網掛けで示します。

### 5-7-5 保守情報

保守メニュー画面で **6. 保守情報** を選択すると、以下の画面を表示します。  
 プリンタ印字行数、登録件数等を表示します。

保守情報
令和 3年 5月12日 水曜日 16:20
計量
メニュー

スケール  
1

2190 kg
 安定

ゼロ

**保守情報**
戻る

プリンタ印字行数		0 行		ソフトウェア	Ver3.00
				プリンタタイプ	Aタイプ
伝票	0 / 10000	1.業者	0 / 4000	水分登録	0 / 1000
滞留車	0 / 500			単価登録	0 / 1000
車番登録	0 / 4000	3.銘柄	0 / 4000		

表示のみで入力是不可です。

## 5-7-6 デジセルユーザー設定

保守メニュー画面で **7. デジセルユーザー設定** を選択すると、以下の画面を表示します。

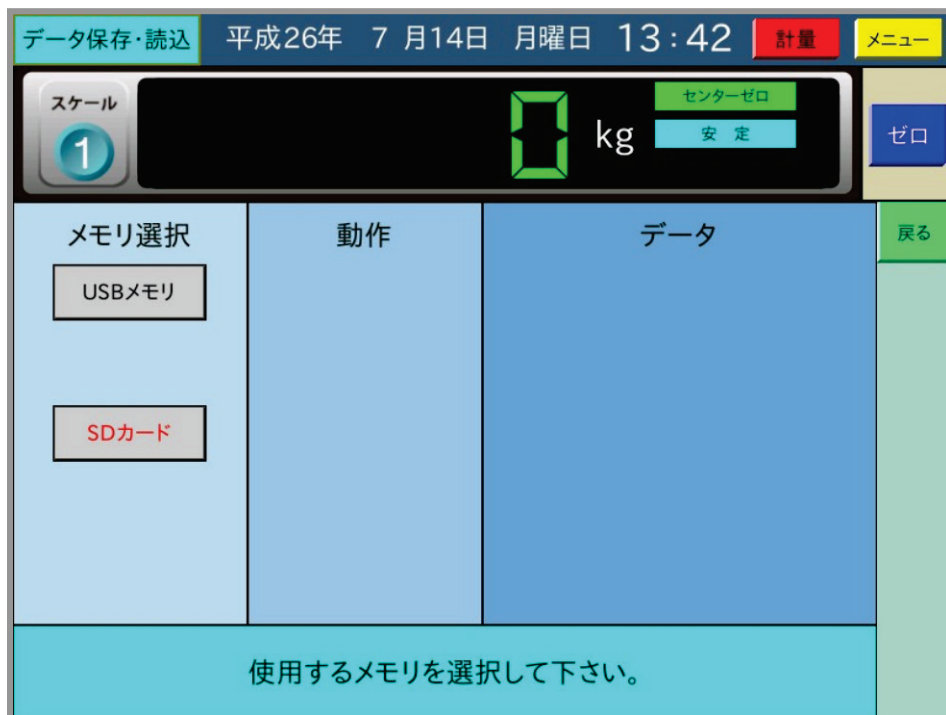
項目	設定値
偏荷重検出でのダイアログ表示	しない
左偏荷重1の検出割合	未使用
左偏荷重2の検出割合	未使用
右偏荷重1の検出割合	未使用
右偏荷重2の検出割合	未使用
偏荷重検出重量	30 kg
個別風袋機能	未使用

設定値のボタンを押して設定変更して下さい。

偏荷重検出でのダイアログ表示	偏荷重の検出で警告のダイアログ表示を行うかどうかを設定します。 設定値： <input type="checkbox"/> しない / <input type="checkbox"/> する
左偏荷重1の検出割合	設定したパーセント値以上で偏荷重検出とします。 設定値： <input type="checkbox"/> 未使用 / 55～100%で5%刻み
左偏荷重2の検出割合	
右偏荷重1の検出割合	
右偏荷重2の検出割合	
偏荷重検出重量	設定値以上で偏荷重検出可能とします。 初期値： <input type="text" value="30"/> kg
個別風袋機能	個別風袋機能（4-15参照）を使用するかどうかを設定します。 <input type="checkbox"/> 使用 で個別風袋ボタンを表示します。 設定値： <input type="checkbox"/> 未使用 / <input type="checkbox"/> 使用

## 5-8 データの保存・読込

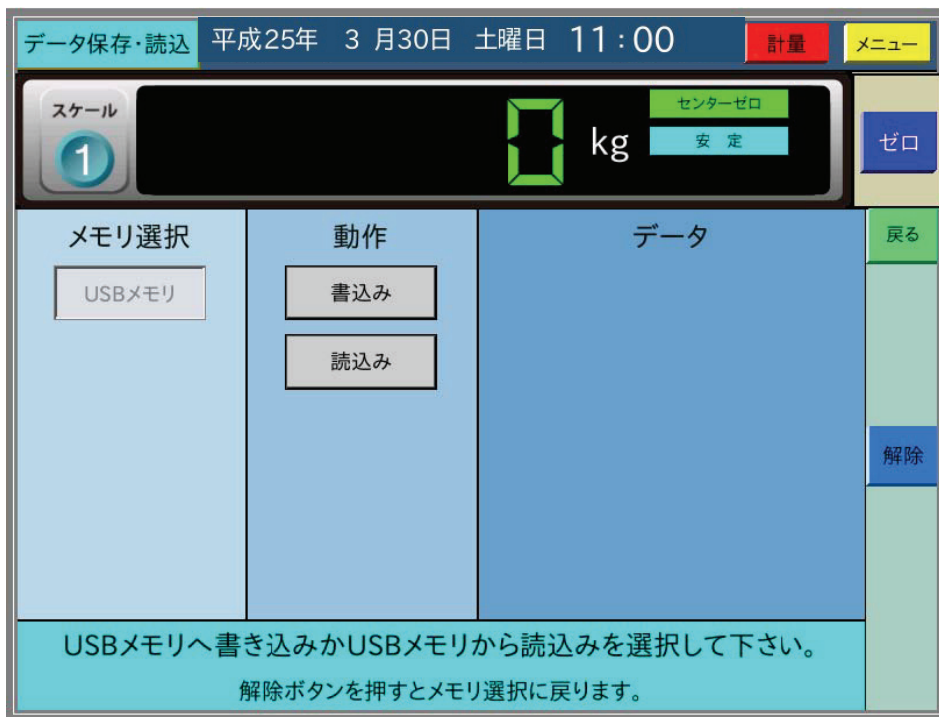
保守メニュー画面で **5.データの保存・読込** を選択し、USBメモリを装着すると、以下の画面を表示します。



### 5-8-1 USBメモリへの保存

ここで、USBメモリを選択すると、以下の画面を表示します。

**解除** ボタンを押すとメモリの選択に戻ります。以下、データ保存・読込において **解除** ボタンは1つ前の状態に戻る機能となります。



**注意** □ ここでUSBメモリに作成された各ファイルの日付の年は、現在の西暦に対し-20年された年になりますのでご注意ください。(2021年では2001年となります。)

さらに、「書込み」を選択すると以下の画面を表示します。

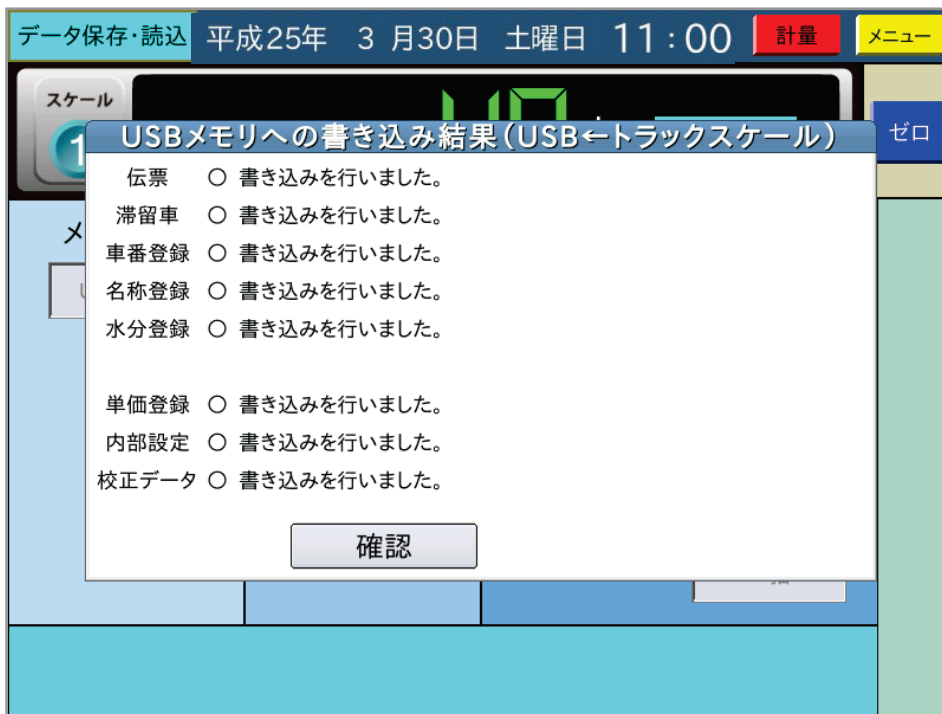
書込み項目として表示するのは、データが存在するものだけです。内部設定、校正データは常に表示します。



ここで、書込みを行うデータを選択して「実行」ボタンを押すと、それぞれのデータをUSBメモリにCSVファイルで保存します。

一括を選択すると全てのデータをUSBメモリに保存します。

書込みが終了すると、以下のように書込み結果の一覧を表示します。



書込みに失敗すると、赤字で×を表示します。



USBメモリに書き込まれるファイル名及びフォルダ名は以下のようになっています。

伝票 : Chit\_Stream.csv  
滞留車 : Stay\_Stream.csv  
車番登録 : Car\_Stream.csv  
名称登録 : Title\_Stream1.csv ←項目1のファイル名 :  
Title\_Stream2.csv ←項目2のファイル名 :  
Title\_Stream3.csv ←項目3のファイル名 :  
水分登録 : Moi\_Stream.csv  
単価登録 : Pric\_Stream.csv  
内部設定 : inside\_data (フォルダ)  
校正データ : cal\_data (フォルダ)

内部設定と校正データは、上記名称のフォルダ内にテキストファイルが複数作成されます。  
各CSVファイルの先頭行には、出荷時設定でデータ名が付きます。

## 5-8-2 USBメモリからの読込

USBメモリを選択後、読込みを選択すると以下の画面を表示します。

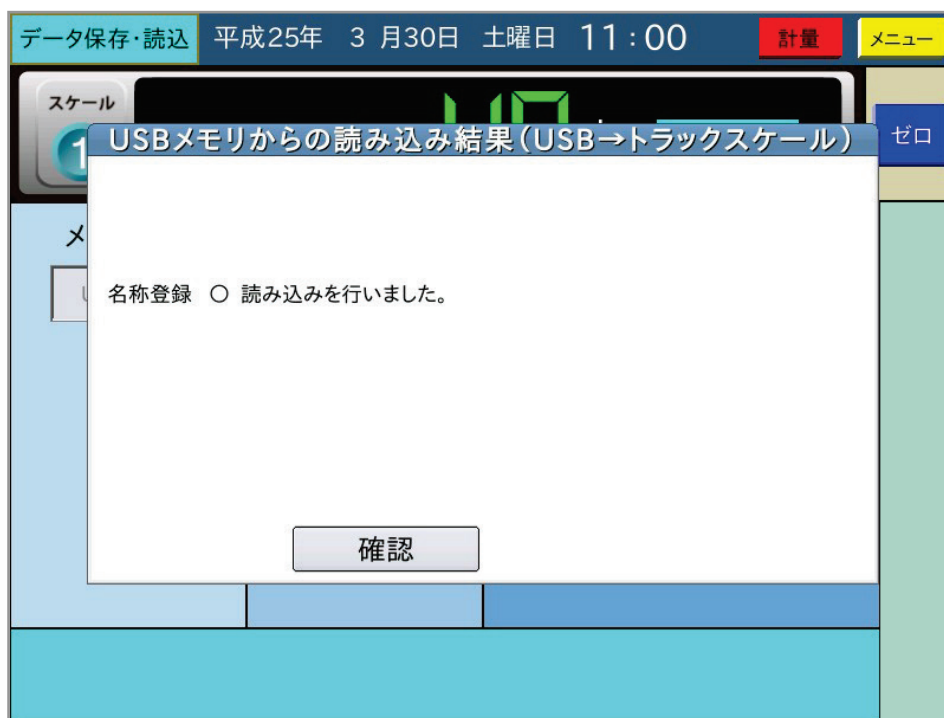
読込み項目として表示するのは、USBメモリ内にファイルが存在するものだけです。



ここで、読込みを行うデータを選択して **実行** ボタンを押すと、それぞれのデータを本器に読込みます。

伝票／滞留車／内部設定／校正データ及び一括の読込みの際は、パスワードの入力が必要になります。

名称登録を選択して読み込みが終了すると、以下のように読み込み結果を表示します。



読み込みに失敗すると、赤字で×を表示します。

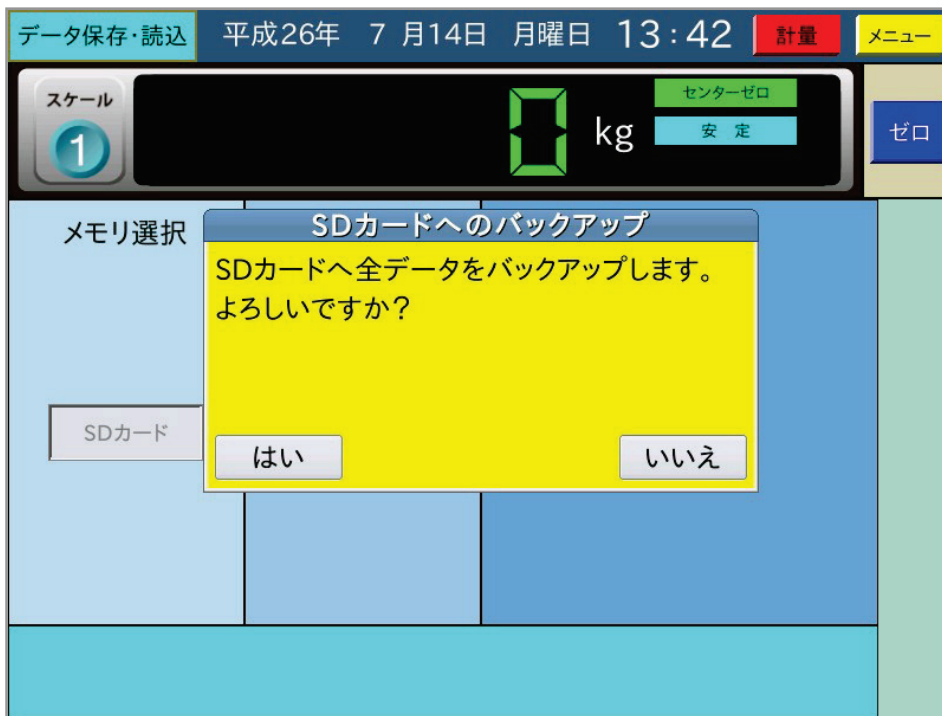
編集したファイルは、書式が完全に一致していないとエラーになりますので、編集したデータの読み込みには注意してください。

### 5-8-3 SDカードへの保存

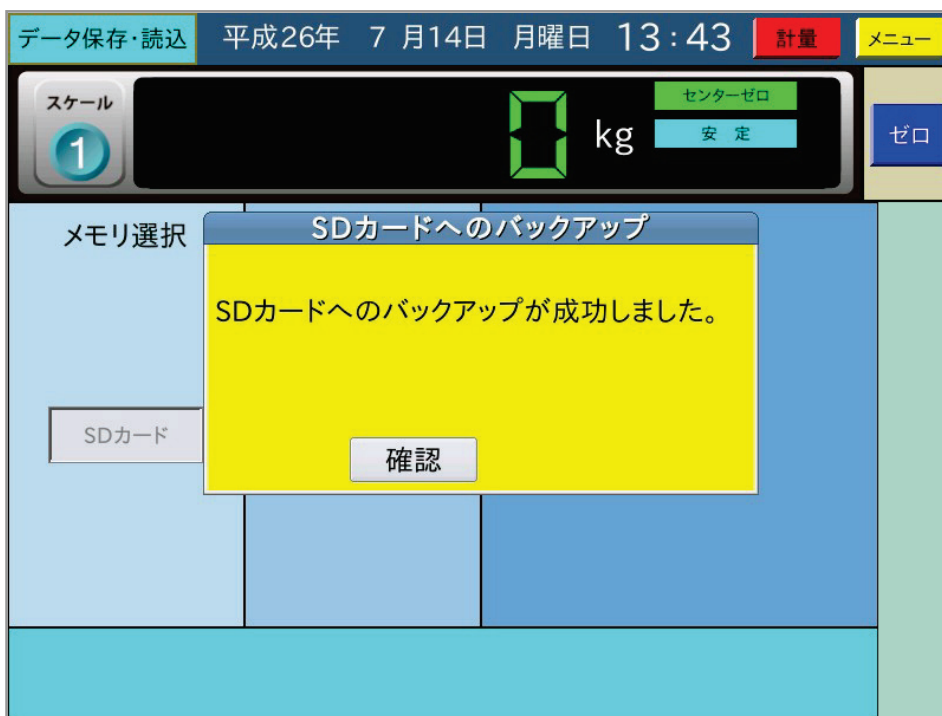
ここで、**SDカード** を選択すると、以下の画面を表示します。



さらに、**バックアップ** を選択すると、以下の画面を表示します。



ここで、**はい** を選択すると、SDカードへ全データのバックアップを行います。バックアップが正常終了すると、以下の画面を表示します。



**注意** □ SDカードにバックアップしたデータの復元は内部設定モードにて行います。

## 6 印字例

### 6-1 伝票印字

◆Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

	回数	車番	日付
業者	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8	1 3 . 4 . 1 0
行先	1 2 3 4 5	A B C D 興業株式会社 X Y 工場	
総量	1 2 : 3 4	再生用資源 - 1 0 0	
銘柄	新 聞		1 2 : 4 5
風袋/正味	7 5 0 0 k g		5 0 0 k g
銘柄	再生 - 書類 A		1 3 : 0 0
風袋/正味	7 1 0 0 k g		4 0 0 k g
銘柄	ダンボール		1 3 : 2 0
風袋/正味	6 5 0 0 k g		6 0 0 k g
銘柄	再生 - コピー紙・書類 1 2 3 4		1 3 : 3 5
風袋/正味	5 8 0 0 k g		7 0 0 k g
銘柄			
風袋/正味			
備考		合 計	2 2 0 0 k g

取引証明に使用する計量伝票は、車番、総重量、空車、正味、また補正機能を有するときには、その補正内容（水分／単価）など、印字データが何を示すものなのかが明確に印刷された用紙を、必ずご使用ください。

◆B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

伝票番号	車 番	日 付
1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8	1 3 . 4 . 1 0
業 者	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4
区 分	1 0 0	再生用資源A
総 量	1 2 3 4 0 k g	1 2 : 3 4
品 名	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4
風袋/正味	1 2 0 0 0 k g	3 4 0 k g
品 名	2 0 0 0 0	再生紙 - 1
風袋/正味	1 1 0 0 0 k g	1 0 0 0 k g
品 名	3 0 0 0 0	再生紙 - 2
風袋/正味	1 0 5 0 0 k g	5 0 0 k g
品 名	4 0 0 0 0	
風袋/正味	1 0 1 0 0 k g	4 0 0 k g
品 名	5 0 0	ダンボール
風袋/正味	9 9 8 0 0 k g	3 0 0 k g
品 名		
風袋/正味		
合 計		2 5 4 0 k g

取引証明に使用する計量伝票は、車番、総重量、空車、正味、また補正機能を有するときには、その補正内容（水分／単価）など、印字データが何を示すものなのかが明確に印刷された用紙を、必ずご使用ください。

### ◆レーザープリンタ（市販A4用紙）によるマルチ伝票印字

ポストスクリプト対応のレーザープリンタで、A4サイズに同じ計量伝票3枚を印字します。  
 ミシン目の入った市販用紙などをご使用ください。  
 印字フォーマットは変更可能です。

 埼玉県計量証明事業登録 第1234号 主任計量者 さいたま一郎		<b>計量証明書</b>		株式会社 エー・アンド・デイ			
		業 者 剪定興行 車 番 1234A 行 先 石川県金沢市		1 本社 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 2 TEL 03-5391-6126 FAX 03-5391-1234 3 センター 埼玉県北本市あさひ 1-243 4 TEL 048-593-1111 FAX 048-593-2983 平成25年12月 3日 10:06 No. 2345			
		銘 柄	計量値	正味重量	単 価	税 率	金 額
総重量			9:56 11840kg				
1 段目		槍ヶ岳-鉱石A	9:59 10140kg	1700kg	20円	8%	36720円
2 段目		アルミ缶一中	10:00 8110kg	2030kg	5円	8%	10962円
3 段目		資源-A	10:01 7260kg	850kg	15円	8%	13770円
4 段目		資源-D20	10:04 6170kg	1090kg	10円	8%	11772円
5 段目		桔梗-ガラス	10:05 4870kg	1300kg	5円	8%	7020円
6 段目		資源-C	10:06 3940kg	930kg	10円	8%	10044円
計量器 電気抵抗線式はかり ひょう量 40t 製造番号 AB-1234567 目 量 10kg		サイ ン	合 計	7900kg			90288円

 埼玉県計量証明事業登録 第1234号 主任計量者 さいたま一郎		<b>計量証明書 (客先)</b>		株式会社 エー・アンド・デイ			
		業 者 剪定興行 車 番 1234A 行 先 石川県金沢市		1 本社 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 2 TEL 03-5391-6126 FAX 03-5391-1234 3 センター 埼玉県北本市あさひ 1-243 4 TEL 048-593-1111 FAX 048-593-2983 平成25年12月 3日 10:06 No. 2345			
		銘 柄	計量値	正味重量	単 価	税 率	金 額
総重量			9:56 11840kg				
1 段目		槍ヶ岳-鉱石A	9:59 10140kg	1700kg	20円	8%	36720円
2 段目		アルミ缶一中	10:00 8110kg	2030kg	5円	8%	10962円
3 段目		資源-A	10:01 7260kg	850kg	15円	8%	13770円
4 段目		資源-D20	10:04 6170kg	1090kg	10円	8%	11772円
5 段目		桔梗-ガラス	10:05 4870kg	1300kg	5円	8%	7020円
6 段目		資源-C	10:06 3940kg	930kg	10円	8%	10044円
計量器 電気抵抗線式はかり ひょう量 40t 製造番号 AB-1234567 目 量 10kg		サイ ン	合 計	7900kg			90288円

 埼玉県計量証明事業登録 第1234号 主任計量者 さいたま一郎		<b>計量証明書 (控え)</b>		株式会社 エー・アンド・デイ			
		業 者 剪定興行 車 番 1234A 行 先 石川県金沢市		1 本社 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 2 TEL 03-5391-6126 FAX 03-5391-1234 3 センター 埼玉県北本市あさひ 1-243 4 TEL 048-593-1111 FAX 048-593-2983 平成25年12月 3日 10:06 No. 2345			
		銘 柄	計量値	正味重量	単 価	税 率	金 額
総重量			9:56 11840kg				
1 段目		槍ヶ岳-鉱石A	9:59 10140kg	1700kg	20円	8%	36720円
2 段目		アルミ缶一中	10:00 8110kg	2030kg	5円	8%	10962円
3 段目		資源-A	10:01 7260kg	850kg	15円	8%	13770円
4 段目		資源-D20	10:04 6170kg	1090kg	10円	8%	11772円
5 段目		桔梗-ガラス	10:05 4870kg	1300kg	5円	8%	7020円
6 段目		資源-C	10:06 3940kg	930kg	10円	8%	10044円
計量器 電気抵抗線式はかり ひょう量 40t 製造番号 AB-1234567 目 量 10kg		サイ ン	合 計	7900kg			90288円

## 6-2 一覧印字

### 6-2-1 伝票一覧印字

Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

伝票一覧	平成25. 3. 28			
平成25/ 3/28	伝票番号	1	車番	123456
会社名	101 100木工所	区分	402	SKE
総重量	13:11	11700kg		
品名	201 粗大ゴミ-A			
1段目	13:11	10140kg	正味重量	1560kg
品名	202 粗大ゴミ-B			
2段目	13:11	8280kg	正味重量	1860kg
品名	203 粗大ゴミ-C			
3段目	13:12	6160kg	正味重量	2120kg
合計重量		5540kg		

B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

●	伝票一覧	平成25. 3. 28	●
●	平成25/ 3/28	伝票番号	1
●	車番	123456	●
●	会社名	101 100木工所	●
●	区分	402 SKE	●
●	総重量	13:11 11700kg	●
●	品名	201 粗大ゴミ-A	●
●	1段目	13:11 10140kg	●
●	正味重量	1560kg	●
●	品名	202 粗大ゴミ-B	●
●	2段目	13:11 8280kg	●
●	正味重量	1860kg	●
●	品名	203 粗大ゴミ-C	●
●	3段目	13:12 6160kg	●
●	正味重量	2120kg	●
●	合計重量	5540kg	●

レーザープリンタ

伝票一覧 平成25. 3. 28				Page:1
平成25/ 3/28	No. 1	車番	123456	
会社名	101 100木工所	区分	402 SKE	
総重量	13:11	11700 kg		
品名	201 粗大ゴミ-A			
1段目	13:11	10140 kg	正味重量	1560 kg
品名	202 粗大ゴミ-B			
2段目	13:11	8280 kg	正味重量	1860 kg
品名	203 粗大ゴミ-C			
3段目	13:12	6160 kg	正味重量	2120 kg
合計重量		5540 kg		

6-2-2 滞留車一覧印字

Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

滞留車一覧 平成25. 3.28			
車番	2741	総重量	14:21 5540kg
会社名	150 ABC産業株式会社	区分	404 HKT
品名	301 危険物-油		
1段目	14:21	3810kg	正味重量 1730kg
車番	8931	総重量	13:17 4390kg
会社名	108 中村興業	区分	401 AKB
品名	205 古新聞		
1段目	13:18	3450kg	正味重量 940kg
品名	206 産業廃棄物		
2段目	13:18	1990kg	正味重量 1460kg

B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

滞留車一覧 平成25. 3.28
車番 2741
会社名 150 ABC産業株式会社
区分 404 HKT
総重量 14:21 5540kg
品名 301 危険物-油
1段目 14:21 3810kg
正味重量 1730kg

レーザープリンタ

滞留車一覧 平成25. 3.28				Page:1	
車番	2741	総重量	14:21	5540 kg	
会社名	150 ABC産業株式会社	区分	404 HKT		
品名	301 危険物-油				
1段目	14:21	3810 kg	正味重量	1730 kg	



6-2-3 車番登録一覧印字

Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

車番登録一覧 平成24. 5. 24			
車番	32843	空車重量	500kg 最大積載量 0kg
業者	105 北本トマト運輸	銘柄	205 古新聞
車番	3745	空車重量	1200kg 最大積載量 25000kg
業者	106 エクリプス運送	銘柄	206 産業廃棄物

B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

車番登録一覧 平成24. 5. 24			
車番	32843	空車重量	500kg
		最大積載量	0kg
業者	105 北本トマト運輸	銘柄	205 古新聞
車番	3745	空車重量	1200kg
		最大積載量	25000kg
業者	106 エクリプス運送	銘柄	206 産業廃棄物

レーザープリンタ

車番登録一覧 平成24. 5.24				Page:1
車番	32843	空車重量	500kg	最大積載量 0kg
業者	105 北本トマト運輸	銘柄	205 古新聞	
車番	3745	空車重量	1200kg	最大積載量 25000kg
業者	106 エクリプス運送	銘柄	206 産業廃棄物	

6-2-4 名称登録一覧印字

Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

銘 柄登録一覧 平成24. 5. 24	
101 処理灰-1	102 普通灰-2
103 一般廃棄	201 粗大ゴミ-A
202 粗大ゴミ-B	203 粗大ゴミ-C
204 古タイヤ	205 古新聞
206 産業廃棄物	207 空缶

B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

銘 柄登録一覧 平成24. 5. 24
101 処理灰-1
102 普通灰-2
103 一般廃棄
201 粗大ゴミ-A
202 粗大ゴミ-B
203 粗大ゴミ-C
204 古タイヤ
205 古新聞
206 産業廃棄物
207 空缶

レーザープリンタ

銘 柄登録一覧 平成24. 5.24		Page:1	
101	処理灰-1	102	普通灰-2
103	一般廃棄	201	粗大ゴミ-A
202	粗大ゴミ-B	203	粗大ゴミ-C
204	古タイヤ	205	古新聞
206	産業廃棄物	207	空缶

## 6-2-5 補正登録一覧印字

水分登録を例に示します。

Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

水分登録一覧 平成24. 5. 24			
車番	6464	水分	10%
業者	10 中央清掃センター	銘柄	202 粗大ゴミ-B
水分 10%			
車番 7373			
業者	103 小林リサイクル	銘柄	204 古タイヤ
水分			12%

B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

水分登録一覧 平成24. 5. 24			
車番	6464	水分	10%
業者	10 中央清掃センター	銘柄	202 粗大ゴミ-B
水分 10%			
車番 7373			
業者	103 小林リサイクル	銘柄	204 古タイヤ
水分			12%

レーザープリンタ

水分登録一覧 平成24. 5.24			Page:1
車番	6464	水分	10%
業者	10 中央清掃センター	銘柄	202 粗大ゴミ-B
水分 10%			
車番 7373			
業者	103 小林リサイクル	銘柄	204 古タイヤ
水分			12%

## 6-3 集計印字

### 6-3-1 掛け合わせ1つ

業者別集計を例に示します。

#### Aタイプ：カード式プリンタ（単票）

業者別集計一覧				
平成27. 7. 8~平成27. 7. 9				
業者	202	南区清掃センター	2回	2950kg 8850円
業者	203	広域リサイクルセンタ	2回	4790kg 4790円
業者	206	小林リサイクル	4回	7890kg 7890円
業者	207	鴻巣廃品回収	3回	5180kg 10360円
業者	208	北本トマト運輸	3回	6370kg 12740円
業者	212	島田組	2回	1900kg 5700円
	合計		16回	29080kg 50330円

#### B/BNタイプ：発行式プリンタ（連続紙）

業者別集計一覧				
平成27. 7. 8~平成27. 7. 9				
業者	202	南区清掃センター	2回	2950kg 8850円
業者	203	広域リサイクルセンタ	2回	4790kg 4790円
業者	206	小林リサイクル	4回	7890kg 7890円
業者	207	鴻巣廃品回収	3回	5180kg 10360円
業者	208	北本トマト運輸	3回	6370kg 12740円
業者	212	島田組	2回	1900kg 5700円
	合計		16回	29080kg 50330円

#### レーザープリンタ

業者別集計一覧印字				
平成27. 7. 8~平成27. 7. 9				
業者	名称	累計回数	累計重量	累計金額
202	南区清掃センター	2回	2950kg	8850円
203	広域リサイクルセンターABC	2回	4790kg	4790円
206	小林リサイクル	4回	7890kg	7890円
207	鴻巣廃品回収	3回	5180kg	10360円
208	北本トマト運輸	3回	6370kg	12740円
212	島田組	2回	1900kg	5700円
	合計	16回	29080kg	50330円

業者	名称	銘柄	名称	業者別回数	個別累計回数	業者別重量	個別累計重量	業者別金額	個別累計金額
202	南区清掃センター	104	粗大ゴミーA	2回	1回	2950kg	2170kg	8850円	6510円
		108	古新聞		1回		780kg		2340円
203	広域リサイクルセンターABC	106	粗大ゴミーC	2回	1回	4790kg	1310kg	4790円	1310円
		108	古新聞		1回		3480kg		3480円
206	小林リサイクル	107	古タイヤ	4回	1回	7890kg	860kg	7890円	860円
		109	産業廃棄物		1回		2320kg		2320円
		111	無筋がれき		1回		1870kg		1870円
		113	コンクリート		1回		2840kg		2840円
207	鴻業廃品回収	107	古タイヤ	3回	1回	5180kg	1640kg	10360円	3280円
		110	空缶		1回		2400kg		4800円
		115	残土		1回		1140kg		2280円
208	北本トマト運輸	103	一般廃棄	3回	1回	6370kg	2580kg	12740円	5160円
		105	粗大ゴミーB		1回		1310kg		2620円
		109	産業廃棄物		1回		2480kg		4960円
212	島田組	102	普通灰ー2	2回	1回	1900kg	1180kg	5700円	3540円
		118	危険物ー油		1回		720kg		2160円
合 計					16回		29080kg		50330円

6-3-2 掛け合わせ2つ

業者別銘柄別集計を例に示します。

レーザープリンタ

### 6-3-3 掛け合わせ3つ

業者別銘柄別車番別集計を例に示します。

#### レーザープリンタ

業者別銘柄別車番別集計一覧印字 平成27.7.8～平成27.7.9							
業者	銘柄	銘柄	名称	車番	個別累計回数	個別累計重量	個別累計金額
202	南区清掃センター	104	粗大ゴミーA	8065	1回	2170kg	6510円
		108	古新聞	8065	1回	780kg	2340円
203	広域リサイクルセンターABC	106	粗大ゴミーC	4126	1回	1310kg	1310円
		108	古新聞	4126	1回	3480kg	3480円
206	小林リサイクル	107	古タイヤ	5963	1回	860kg	860円
		109	産業廃棄物	5963	1回	2320kg	2320円
		111	無筋がれき	5963	1回	1870kg	1870円
		113	コンクリート	5963	1回	2840kg	2840円
207	鴻業廃品回収	107	古タイヤ	6580	1回	1640kg	3280円
		110	空缶	6580	1回	2400kg	4800円
		115	残土	6580	1回	1140kg	2280円
208	北本トート運輸	103	一般廃棄	7139	1回	2580kg	5160円
		105	粗大ゴミーB	7139	1回	1310kg	2620円
		109	産業廃棄物	7139	1回	2480kg	4960円
212	島田組	102	普通灰ー2	3923	1回	1180kg	3540円
		118	危険物ー油	3923	1回	720kg	2160円
合計					16回	29080kg	50330円

## 7 エラーメッセージ

エラー発生時はダイアログ中の画面中央に、エラーメッセージを表示します。

### 7-1 起動時のエラーメッセージ

「計量禁止日です。」 「計量を行うにはパスワードの入力が必要になります。」	設定された計量禁止日に起動した場合に表示します。設置業者にお問い合わせください。
「データベース読出しエラーです。」 「確認ボタンを押してください。」	起動時にデータベースの読出しでエラーが発生した場合に表示します。連続して発生する場合は修理依頼をしてください。

### 7-2 計量伝票発行時のエラーメッセージ

「ひょう量オーバーです。」	計量値がひょう量を超えると表示します。計量値がひょう量以下になると通常のメッセージに戻ります。
「車番登録がありません。」 「確認ボタンを押してください。」	車番入力時に車番登録が無い場合に表示します。車番登録が必要な設定時のみです。
「項目コードが未入力です。」 「確認ボタンを押してください。」	項目コード未入力で <b>設定</b> ボタンを押したときに表示します。コード入力が必要な設定時のみです。
「名称登録がありません。」 「確認ボタンを押してください。」	入力したコード番号の名称が未登録のときに表示します。名称登録が必要な設定時のみです。
「過積載です。」 「確認ボタンを押してください。」	総重量が最大積載量を超えたときに表示します。過積載後の動作は計量機能で設定変更可能です。
「計量値が負なので計量できません！」 「確認ボタンを押してください。」	計量値が負の状態でも車番入力または <b>設定完了</b> 、 <b>印字</b> ボタンを押したときに表示します。
「計量値入力がひょう量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	計量値の入力値がひょう量を超えている場合に表示します。
「計量値が空車登録値より小さいです！」 「確認ボタンを押してください。」	計量値が空車登録値より小さい場合に表示します。
「印字用紙をセットして確認ボタンを押してください。」	<b>印字</b> ボタンを押したときにAタイププリンタに印字用紙がセットされていない場合に表示します。(登録・集計印字も共通)
「日計元帳がいっぱいなので登録できません！」 「確認ボタンを押してください。」	伝票発行時に日計元帳件数が1万段の場合に表示します。日計元帳がいっぱいの場合には新規伝票の登録はできませんが伝票発行は可能です。
「日計元帳の残りが少なくなりました。」 「不要なデータを削除してください。」 (数秒間)	伝票発行時に日計元帳件数が9500段以上になると表示します。日計元帳がいっぱいになる前に不要な伝票を削除してください。

「滞留車メモリがいっぱいなので登録できません！」 「確認ボタンを押してください。」	計量時に滞留車メモリが500段の場合に表示します。滞留車メモリがいっぱいになると以降の計量ができなくなります。
「滞留車メモリの残りが少なくなりました。」 「不要なデータを削除してください。」 (数秒間)	計量時に滞留車件数が450件以上になると表示します。滞留車メモリがいっぱいになる前に不要な滞留車データを削除してください。
「ロードセルとの通信が不良です。」 「重心ボタンを押して各セルの重量表示を確認してください。」	いずれかのロードセルとの通信が不良になっています。重心ボタンを押して、通信不良となっているロードセルを確認してください。

## 7-3 登録時のエラーメッセージ

### (車番登録)

「空車重量がひょう量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値がひょう量を超えている場合に表示します。
「空車重量が目量切替重量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	空車重量の入力値が目量切替重量を超えている場合に表示します。
「最大積載量がひょう量を超えています！」 「確認ボタンを押してください。」	最大積載量の入力値がひょう量を超えている場合に表示します。
「車番登録がいっぱいなので登録できません！」 「確認ボタンを押してください。」	車番登録が4000件の場合に表示します。
「同じ車番の登録があります！」 「確認ボタンを押してください。」	車番登録変更時に既に登録してある車番を入力したときに表示します。

### (名称登録)

「名称登録がいっぱいなので登録できません！」	各名称登録が4000件の場合に表示します。
「同じコード番号の名称登録があります！」	名称登録変更時に既に登録してあるコード番号を入力したときに表示します。

### (補正登録)

「水分(または単価)登録がいっぱいなので登録できません！」	各補正登録が1000件の場合に表示します。
「同じ車番/コード番号の登録があります！」	補正登録変更時に既に登録してある車番/コード番号を入力したときに表示します。 補正登録を行う際の車番、項目コードの組み合わせは内部設定にて設定します。



## 7-4 時計バックアップバッテリー交換のメッセージ

本器の時計をバックアップするバッテリーが低下し交換時期になると、交換を促すダイアログを表示します。バックアップバッテリーが切れるまで数週間以上の猶予はありますので、その間にバッテリーの交換を依頼してください。

**確認** ボタンを押すと通常通りに使用可能です。表示している日時は念のため確認してください。バックアップバッテリーは時計をバックアップしています。計量データ、登録データへの影響はありません。万が一にバッテリーが切れた状態では日時を合わせた上でご使用ください。時計バックアップバッテリーの寿命は約10年です。

The screenshot shows a scale's LCD interface. At the top, it displays '平成25年 3月30日 土曜日 11:00' (Heisei 25, March 30, Saturday, 11:00). Below this, there are buttons for '消灯' (Light off), '計量' (Weighing), and 'メニュー' (Menu). The main display area shows 'スケール 1' (Scale 1) and 'kg' with a 'センターゼロ' (Center zero) and '安定' (Stable) indicator. A yellow dialog box titled '低電圧検出' (Low voltage detected) is overlaid on the screen, containing the text: '時計用電池の電圧が低下しています。' (The voltage of the watch battery is low.) and '電池の交換をして下さい。' (Please replace the battery.). A '確認' (Confirm) button is at the bottom of the dialog. To the right of the dialog, there is a 'ゼロ' (Zero) button and a '0件' (0 items) indicator. Below the dialog, there is a table with columns for '伝票番号' (Invoice number), '車番' (Vehicle number), '業者' (Operator), '銘柄' (Brand), '総重量' (Total weight), '空車重量' (Empty vehicle weight), and '正味重量' (Net weight). The '総重量' row shows ': kg', '空車重量' shows ': kg', and '正味重量' shows ': kg'. To the right of the table, there is a '状態' (Status) indicator and a '再発行' (Re-issue) button. At the bottom of the screen, there is a blue bar with the text '待機中です。' (Waiting).

伝票番号		
車番		
業者		
銘柄		
総重量	:	kg
空車重量	:	kg
正味重量	:	kg

## 8 音声ガイダンス

音声ガイダンスの一覧を以下に示します。

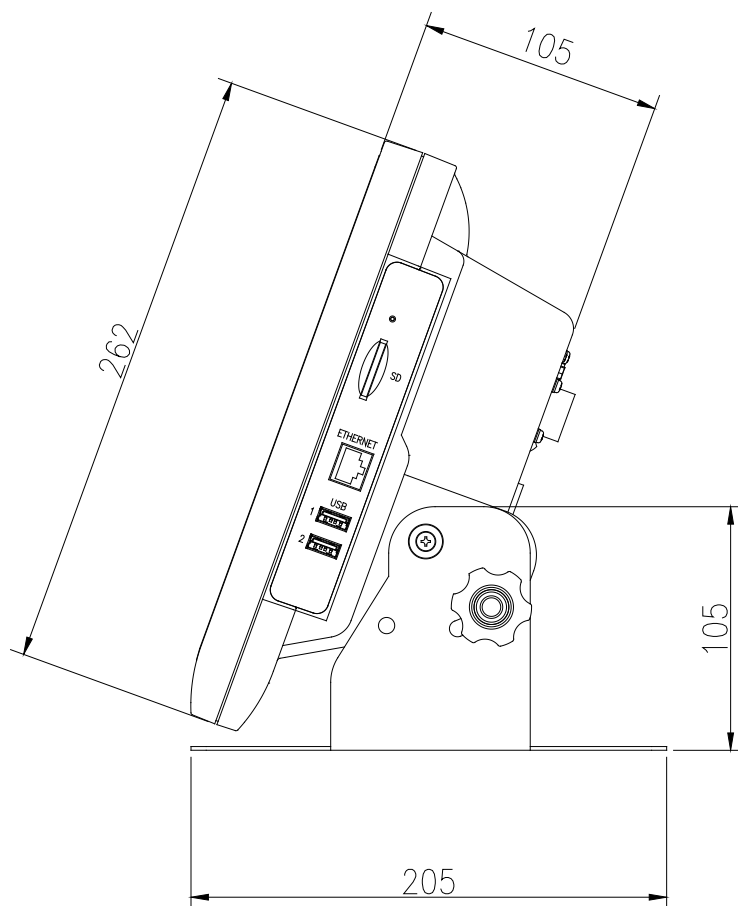
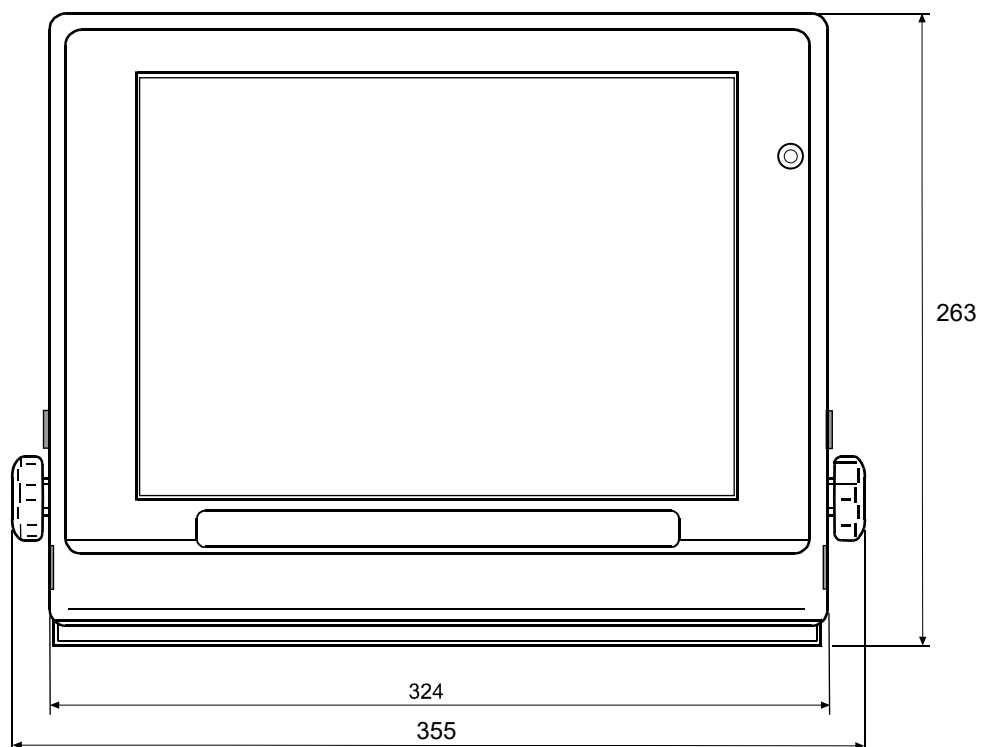
全ての音声ガイダンスは個別に男性の声、女性の声、未使用が設定可能です。

トラック乗車時は効果音のみの設定が可能です。

さらに、トラック乗車時は音声の出力回数を（1回／3回／6回／12回）及びオペレータの操作までの設定が可能です。

タイミング	音声ガイダンスの内容
起動時	「計量物が何も載っていないの確認し、 <input type="button" value="ゼロ"/> ボタンを押してください。」
トラック乗車	<ピンポン> 「トラックが乗車しました。」
総重計量の終了	「入力が終了しました。印字用紙をセットして <input type="button" value="総重"/> ボタンを押してください。」
各段計量の終了	「入力が終了しました。印字用紙をセットして <input type="button" value="空車"/> または <input type="button" value="印字"/> ボタンを押してください。」
最終段計量の終了	「入力が終了しました。印字用紙をセットして <input type="button" value="印字"/> ボタンを押してください。」
降車待ち	「計量完了しました。降車してください。」
過積載	<エラー音> 「過積載です。積荷を降ろしてください。」
ひょう量オーバー	<エラー音> 「ひょう量オーバーです。」

## 9 外觀圖



単位：mm









## 使い方・修理に関するお問い合わせ窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。  
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

東日本 048-593-1743

西日本 06-7668-3908

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00、月曜日～金曜日(祝日、弊社休業日を除く)  
都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがあります  
のでご了承ください。

# AND 株式会社 エー・アンド・デイ

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

東京営業2課 TEL. 03-5391-6121(直)

東京営業3課 TEL. 03-5391-6122(直)

東京営業1課 TEL. 03-5391-6128(直)

札幌出張所 TEL. 011-251-2753(代)

仙台営業所 TEL. 022-211-8051(代)

宇都宮営業所 TEL. 028-610-0377(代)

東京北営業所 TEL. 048-592-3111(代)

東京南営業所 TEL. 045-476-5231(代)

静岡営業所 TEL. 054-286-2880(代)

名古屋営業所 TEL. 052-726-8760(代)

大阪営業所 TEL. 06-7668-3900(代)

広島営業所 TEL. 082-233-0611(代)

福岡営業所 TEL. 092-441-6715(代)

開発技術センター 〒364-8585 埼玉県北本市朝日 1-243

※2019年10月29日現在の電話番号で  
す。電話番号は、予告なく変更され  
る場合があります。

※電話のかけまちがいに注意くだ  
さい。番号をよくお確かめの上、お  
かけくださるようお願いします。